

CASIO®

水深・方位・温度計測機能

3445*JA

取扱説明書

3445

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

◆十分に充電してお使いください

- ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

 参照 充電量の確認…P.26

◆計測機能について

- 専門的な計測器ではありません。
計測機能は、目安としてお使いください。
- 水深計測機能はあくまでも補助の水深計（バックアップ水深計）としてご使用ください。
- 方位計を本格的な潜水などでご使用になるときは、必ず予備の水中コンパスを携帯してください。
予備の水中コンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、方位補正をしてください。
 - 永久磁石（磁気アクセサリなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

 参照 方位を補正する…P.122

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら、時計は動作します。

→ P.30

◆正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→ P.38

◆潜水情報がわかります

潜水時間、水深、方位、水温を計測できます。

→ P.72

◆潜水の記録を確認できます

ダイビングログの確認や、記録した日時の確認、削除ができます。

→ P.104

◆方位がわかります

目標物の方位を調べることができます。

→ P.114

◆手動で日時を記録できます

→ P.136

◆ストップウォッチとして使えます

経過時間を計測できます。

→P.142

◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測します。予定の時間になると、タイムアップ音でお知らせします。

→P.144

◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音でお知らせします。

→P.148

◆ワールドタイムがわかります

世界 48 都市と UTC の時刻を表示できます。

→P.154

◆温度を計測できます

気温や水温を計測することができます。

→P.158

◆潮と月の情報を表示します

日時を指定して、潮の干満や月の形 / 月齢を調べることができます。

→P.164

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています
(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています
(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

 **危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

危険

スクーバダイビング等に 使用するときには

必ず安全潜水に関する特別な教育を受けてからご使用ください。

本機は潜水の同伴者(バディ)の代用にはなりません。潜水の際は必ずバディシステムをお守りください。

本機は減圧計算を行う「ダイビングコンピュータ」ではありません。あくまでも補助用としてご使用ください。

飽和潜水などによるヘリウム雰囲気中で、本機を使用しないでください。

表示深度を超える潜水には使用しないでください。

**電池の取り扱いについて**

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **警告**

ダイビングを始める前に

電池が十分充電してあることを確認してください。

- 充電レベル2以上でご使用ください。

ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。



お手入れについて

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。

ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

 **注意****分解しないでください**

本機を分解しないでください。けがを
したり、本機が故障する原因となる
ことがあります。

**データ控えを作ってください**

記憶させた内容は、ノートなどに書く
などして、本機とは別に、必ず控えを
残してください。



本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内
容が消えることがあります。

注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やけがの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

**ご使用にあたって**

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のけがやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

注意

オートライト作動時のご使用 について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

この時計の特長	2
安全上のご注意	4
本書について	24
本文中の記号について	24
操作部と画面表示について	25
ご使用になる前に	26
充電量の確認	26
時刻と日付の設定	28
光で充電（ソーラー充電）	30
充電するには	30
充電不足や充電切れ	32
充電にかかる時間	35
節電（パワーセービング機能）	36
自動的に時計を合わせる	38
電波の受信範囲と条件	40
受信場所	42

電波を受信するには.....	43
受信のご注意.....	50
モードの種類と切り替え.....	52
各モードでできること.....	52
モードの切り替え.....	54
共通機能.....	60
都市の設定と時計の合わせ方.....	62
ホーム都市、サマータイムの設定.....	62
12/24時間制、時刻、日付の調節.....	67
ダイビング機能の使い方.....	72
潜水前.....	73
潜水中（自動計測&ログデータメモリー）.....	74
継続潜水待機状態（水深 1.4m 以浅）.....	76
ログデータを表示する.....	77
潜水後.....	78
時刻モードへの自動復帰.....	79
潜水が終了すると水面休息时间 （サーフェスタイム）を計測.....	80
知っておくと便利な機能.....	82

ダイビング機能の計測内容と範囲..... 84

水深の計測	84
潜水時間の計測	86
計測エラーになったときは	89
使用注意事項	92
ダイビングモードに関する Q&A	94
浮上速度警告機能	102

ログデータを見る (ダイビングログ) 104

記録したデータを表示する	104
ログデータを選んで消去する	107
すべてのログデータを消去する	108

注意マーク [!] が 点滅しているときは 110

方位計測..... 114

方位を計測する	114
目標方位を記録する (ベアリングメモリー)	121
方位を補正する	122
方位計測のご注意	133

手動記録した日時のデータを見る (タイムリコール)	136
データを記録する	136
記録したデータを表示する.....	137
記録データを選んで消去する	140
すべての記録データを消去する	141
ストップウォッチ	142
ストップウォッチモードを選ぶ.....	142
計測する.....	143
タイマー	144
タイマーモードを選ぶ	144
計測時間を設定する.....	145
計測する.....	147
タイムアップ音を止める	147
アラーム・時報	148
アラームモードを選ぶ	149
アラーム時刻を設定する.....	149
アラーム・時報のオン / オフ	151
アラーム音を止める	152
アラーム音を確認する (モニターアラーム)	153

ワールドタイム	154
ワールドタイムモードを選ぶ.....	154
他のタイムゾーンの時刻を見る.....	155
サマータイム (DST) の設定.....	155
温度計測	158
温度を計測する.....	158
温度の計測値を補正する.....	160
気温計測のご注意.....	162
水温計測のご注意.....	162
潮の干満・月の形 / 月齢 (タイド・ムーン)	164
現在の潮の干満を表示する.....	164
今日の月の形 / 月齢を表示する.....	166
今日の別の時刻を指定して、 潮の干満を調べる.....	170
日時を指定して、潮の干満、 月の形 / 月齢を調べる.....	172
満潮時刻を補正する.....	175
北半球または南半球での月の形を選ぶ.....	178

ライト	180
ボタンを押して点灯させる	180
自動的に点灯させる（オートライト）	181
点灯時間を切り替える	184
各種の設定	186
ボタン操作音の設定 / 解除	186
節電（パワーセービング機能）の設定 / 解除	188
故障かな？と思ったときは	190
ダイビングモード	190
方位の計測	196
センサー計測エラー	199
充電	200
時刻設定	202
電波受信	203
ワールドタイムモード	206
主な機能表示	208
製品仕様	210

ご使用上の注意.....	216
お手入れについて.....	224
本製品で使用している電池について ..	226
金属バンドの駒詰めについて.....	227
UTC（協定世界時）とタイムゾーン..	228
都市コード一覧表.....	230

本書について

本文中の記号について

-  **注意**：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。
-  **重要**：正しく使用するために必要な情報を記載しています。
-  **参考**：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
-  **：**詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。

ご使用になる前に

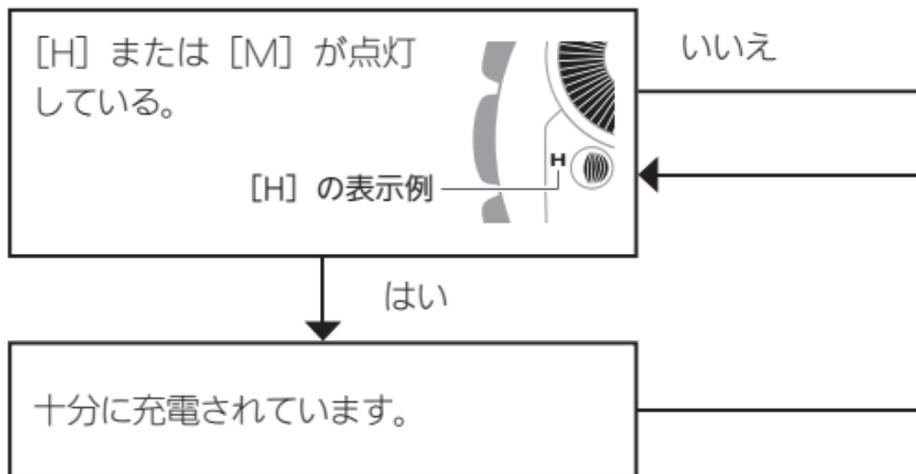
この時計をお使いになるには、「充電」と「時刻・日付の設定」が必要です。

十分に充電し、時刻と日付の表示を合わせたら、「モードの種類と切り替え」と操作したい機能の説明をお読みください。

 モードの種類と切り替え…P.52

充電量の確認

画面で充電の状態を確認してください。



下記のいずれかを表示している。

- [LOW]が点滅している、
[L] が点滅している



- [CHG] が点滅している



はい

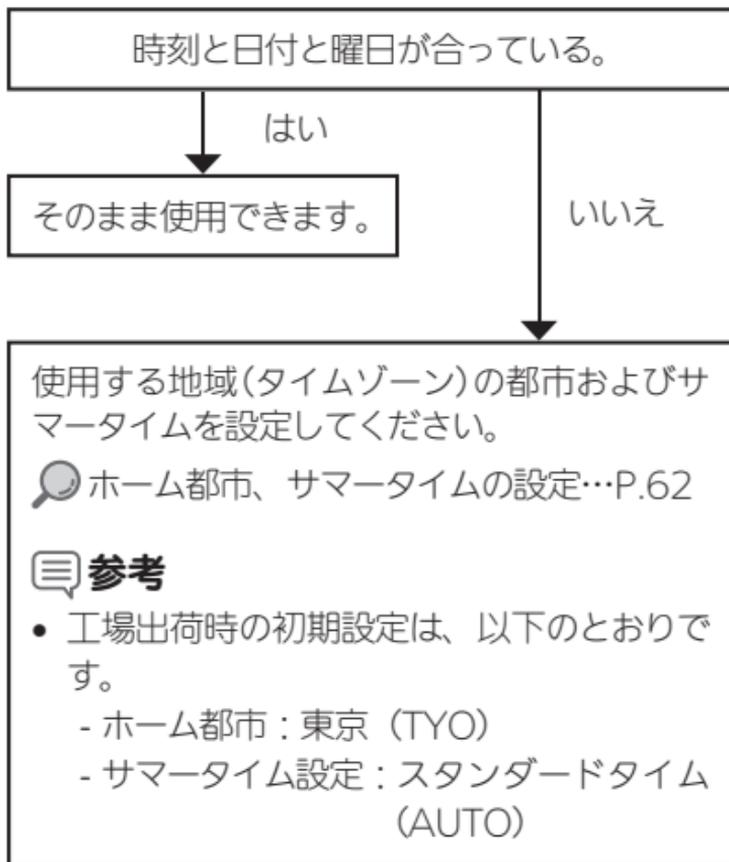
充電不足です。
時計を光に当て、充電してください。

 充電するには…P.30

次ページの「時刻と日付の設定」に進んでください。

時刻と日付の設定

時刻と日付の表示を確認して、チャートに従ってください。



時刻と日付を合わせてください。

- 電波を受信できる場所で使用する場合

 電波を受信するには…P.43

- 電波を受信できない場所で使用する場合

 12/24時間制、時刻、日付の調節…P.67

✓重要

- どのモードで操作していても、◎ ボタンを1秒間押し続けると時刻モードに戻ります。1つのボタン操作で時刻モードに戻りたいときにお使いください。
- この時計を主に日本以外の国で使用する場合は、使用するタイムゾーンを確認して都市およびサマータイム（DST）を設定してください。

 UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.228

- 都市とサマータイム（DST）を正しく設定しないと、電波を受信しない原因や時刻が正しく合わない原因となります。

光で充電（ソーラー充電）

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気を充電したバッテリー（二次電池）で動作します。

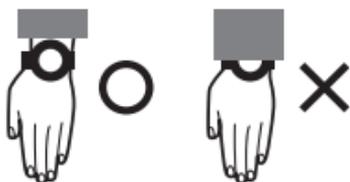
- ソーラーパネルは文字板と一体化になっています。
- 文字板に十分な光が当たっているときに、発電と充電をします。

ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光を当てるように心がけてください。

充電するには



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1 ヶ月に 1 回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

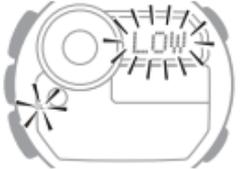
注意

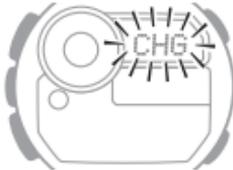
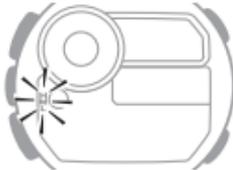
- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所
- 極端な高温下では液晶パネルが黒くなる場合がありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電量は画面で確認します。

- 充電量が低下すると、使用できる機能が制限されます。充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

表示	充電 レベル	充電 状態	時計の状態
	1 2	良好	すべての機能が使用できます。ダイビングにご使用の際には、事前に充電レベル2になるまで充電をしてください。
	3	充電不足	<p>[LOW]と[L]（場合によっては[L]のみ）が点滅します。以下の機能が使用できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電波受信 ● ダイビング、方位、温度、タイド/ムーン ● ライト点灯 ● 音（アラームなど）

表示	充電レベル	充電状態	時計の状態
	4	充電不足	[CHG] だけが点滅し、その他の表示が全部消えているときは、すべての機能が使用できなくなります。
すべて消灯	5	充電切れ	すべての機能停止(すべてのデータと設定が消去されます)。
		一時的な電池消耗	[H][M][L]が一緒に点滅しているときや、[H][M][L]と[CHG]が一緒に点滅しているときは、現在時刻の表示など一部の機能を使用できます。

✓重要

- 充電切れになると機能が停止し、すべての設定は初期設定（工場出荷時）の状態に戻ります。時刻や日付など、各種設定をするときは、画面下部の表示が [M] または [H] になるまで充電してください。

☰参考

- 直射日光や強い光が当たる場所で充電すると、一時的に実際の充電量よりも高いレベルを表示することがあります。

充電にかかる時間

充電の目安として、下表をご活用ください。

◆1日、使用するために必要な充電時間

環境 (照度)	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000 lx)	5分
晴れた日の窓際など (10,000 lx)	24分
曇りの日の窓際など (5,000 lx)	48分
蛍光灯下の室内など (500 lx)	8時間

◆充電量の回復に必要な時間

環境 (照度)	時計が動くまでの充電時間	充電が完了するまでの時間
晴れた日の屋外など (50,000 lx)	2時間	18時間
晴れた日の窓際など (10,000 lx)	6時間	90時間
曇りの日の窓際など (5,000 lx)	11時間	182時間
蛍光灯下の室内など (500 lx)	142時間	—

☞参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

節電（パワーセービング機能）

パワーセービング機能とは、午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

- 節電状態には、レベル 1 とレベル 2 の 2 段階があります。

節電レベル	節電開始までの所要時間	表示と機能の状態
レベル 1	暗い場所に置いてから約 1 時間	 <p>節電中を示しています</p> <ul style="list-style-type: none">● [PS] が点滅します。● すべての機能は作動しています。
レベル 2	レベル 1 の状態が 6～7 日間	<ul style="list-style-type: none">● [PS] が点灯します。● 時計機能とストップウォッチ計測のみ作動しています。

参考

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
 - いずれかのボタンを押す
 - 時計を明るい場所に置く
 - 時計を傾けてオートライト機能を作動させる
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- ストップウォッチモード、タイマーモード、またはダイビングモードのときは節電状態になりません。
- パワーセービング機能は設定 / 解除の切り替えができません。

 節電 (パワーセービング機能) の設定 / 解除…P.188

自動的に時計を合わせる

この時計は、時刻情報に乗せた標準電波（以降、電波）を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

✓ 重要

- 電波を受信するためには、受信機能に対応している都市を設定しておく必要があります。

 ホーム都市、サマータイムの設定…P.62

☰ 参考

- 日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。購入時の初期設定は以下のとおりです。
 - ホーム都市：東京（TYO）
 - サマータイム設定：スタンダードタイム（AUTO）

受信機能に対応している地域の代表都市

ホーム都市	受信する電波
TYO/SEL/TPE	日本の標準電波 (JJY)
HKG/BJS	中国の標準電波 (BPC)
HNL/ANC/YVR/LAX/YEA/ DEN/MEX/CHI/NYC/YHZ/ YYT	アメリカの標準電波 (WWVB)
LIS/LON/MAD/PAR/ROM/ BER/STO/ATH/MOW	イギリスの標準電波 (MSF) ドイツの標準電波 (DCF77)

 都市コード一覧表…P.230

重要

- 電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻を設定してください。

 ホーム都市、サマータイムの設定…P.62

 12/24 時間制、時刻、日付の調節…P.67

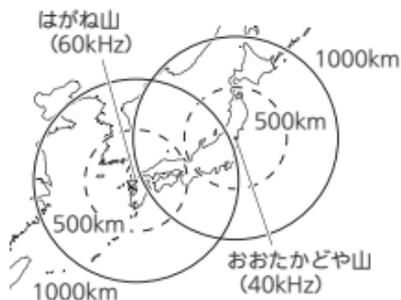
 UTC (協定世界時) とタイムゾーン…P.228

 都市コード一覧表…P.230

電波の受信範囲と条件

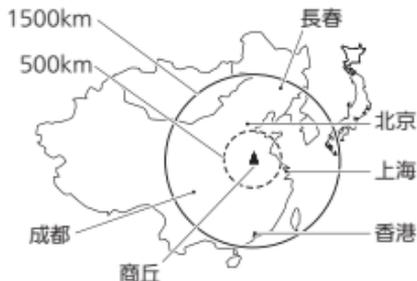
送信所の位置

<日本 (JJY) >



台湾エリアでは、条件が良ければ受信することができます。

<中国 (BPC) >

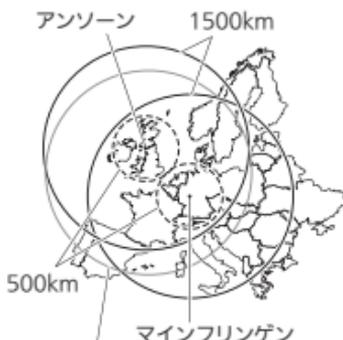


<アメリカ (WWVB) >



ホノルルおよびアンカレジの地域 (タイムゾーン) は、条件が良ければ受信することができます。

<イギリス (MSF) / ドイツ (DCF77) >



アンソーンから送信されている電波は、この範囲でも受信できます。

参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。
- この時計を使用する国と電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻を表示しないことがあります。
- 中国は2016年1月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻を表示しないことがあります。

受信場所

- 金属を避けて、時計の12時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波を受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。

- ビルの中およびその周辺
- 乗り物の中
- 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
- 工事現場、飛行場など
- 高圧線の近く
- 山間部、山の裏側



電波を受信するには

受信方法には、決まった時刻に自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。受信には通常で2～10分、状況によっては最大で20分かかります。

✔ 重要

- 使用する地域に応じた都市を設定していないと電波を受信できません。

 ホーム都市、サマータイムの設定…P.62

◆ 自動的に電波を受信する

● 時計を受信しやすい場所に置きます。

受信が成功すると自動的に時刻を補正して、時刻モードに戻ります。

- 電波を常に自動受信しているわけではありません。午前12時から午前5時の間に、1日最大6回（中国は1日最大5回）自動受信します。ただし1日1回受信に成功すれば、その日は自動受信しません。
- 受信に失敗した場合は、時刻に変化がありません。

◆自動受信の設定 / 解除

電波の受信に対応している都市をホーム都市に選んでいる場合は、自動受信の設定 / 解除ができます。

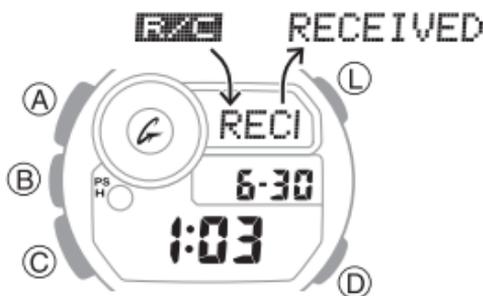
🔍 受信機能に対応している地域の代表都市…P.39

①時刻モードで、**ⓐ** ボタンを9回押します。

受信モードに切り替わります。

[R/C] を表示し、約1秒後に [RECEIVED] を流れるように表示します。

🔍 モードの切り替え…P.54



- ② ① ボタンを2秒以上押し続けます。[SET]
[Hold] を表示した後に、画面の上段に
[AUTO] を表示し、画面の下段に [ON] ま
たは [OFF] が点滅したら指を離します。



- ③ ④ ボタンを押して、ON（設定）または OFF
（解除）を選びます。

④ ボタンを押すたびに、ON と OFF が切り替わります。

- ④ ① ボタンを押します。

設定が完了して、手順 1 の表示に戻ります。

参考

- 受信に成功すると、左上のグラフィックの中央に [G] マークが点灯します。受信に失敗した場合でも、前回の受信（24 時間以内）が成功しているときは、[G] マークが点灯しています。

◆手動で電波を受信する

①時刻モードで、**ⓐ** ボタンを9回押します。
受信モードに切り替わります。

②**ⓓ** ボタンを2秒以上押し続けます。[RC]
[Hold] を表示した後に、[RC] [Hold] が
消えたら指を離します。

受信を開始します。

- 電波の受信中は、受信状態レベル (L1、L2、L3) を表示します。

 受信状態のレベル表示について…P.48



☰ 参考

- 受信状態が安定するまで、約 10 秒かかる場合があります。
- 受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

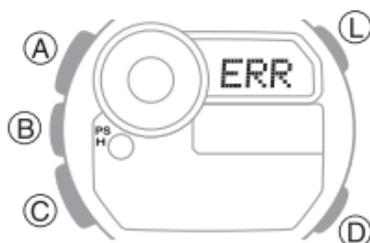
受信が終了すると受信結果を表示します。

受信成功

受信成功時は
G マークが点灯



受信失敗



☰ 参考

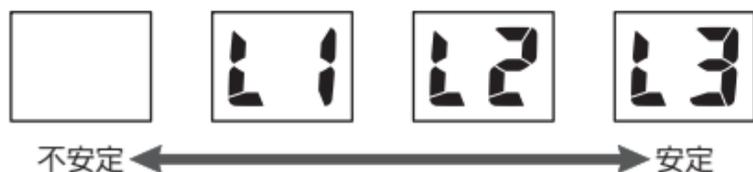
- いずれかのボタンを押す、または何も操作しないまま 2 ~ 3 分経過すると時刻モードに戻ります。
- 受信に失敗した場合は、周辺の受信環境をご確認になり、再度受信操作をしてください。

◆受信状態のレベル表示について

電波を受信しているときに、受信状態を以下のように表示します。受信中は、受信状態によってレベル表示が変化します。レベル表示を確認し、電波の受信状態が最も安定する所に時計を置いてください。



受信状態レベル表示



☰ 参考

- 受信の条件が良好な場合でも、受信状態が安定するまで約10秒かかります。
- 天候、時間、環境などの影響で受信状態は変化します。

◆ 前回の受信日時を確認する

① 時刻モードで、◎ ボタンを9回押します。

受信モードに切り替わります。

- 前回受信した日付と時刻を表示します。
- これまで一度も受信に成功していないときは、[-:--]と[-:--]を表示します。



- ◎ ボタンを押すと時刻モードに戻ります。

受信のご注意

- 時刻モードおよびワールドタイムモードのときに電波を自動受信します。
- 電波を受信して自動的に時刻を修正する際に、時計内部の演算処理などにより若干（1秒未満）のずれが発生します。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
 - 充電不足のとき（充電レベル3以下）、一時的な電池消耗のとき
 - 節電レベル2のとき
 - ダイビングモードのとき
 - 水深計測、方位計測、または、温度計測をしているとき
 - タイマー計測しているとき
- 受信中にアラーム音が鳴ったときは、受信を中止します。
- 日付を自動で設定できる2099年12月31日までは電波を受信します。2100年1月以降は受信できなくなります。
- 電波障害により誤った信号を受信したときは、再度電波を受信してください。
- 平均月差±15秒の精度で動きます。

モードの種類と切り替え

この時計には、機能に応じた12のモードがあります。各モードでできることとモード切り替え操作は以下のとおりです。また、各モードに共通している機能や操作は、60ページを参照してください。

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	<ul style="list-style-type: none">時刻、日付、曜日の表示都市、時刻、サマータイムの設定	P.59 P.62
受信	<ul style="list-style-type: none">電波の手動受信受信結果の確認自動受信の設定	P.43
ダイビング	<ul style="list-style-type: none">潜水時間、水深、方位、水温の計測	P.72
方位計測	<ul style="list-style-type: none">方位や角度の計測方位の記録（ベアリングメモリー）	P.114
ダイビングログ	<ul style="list-style-type: none">潜水開始日時、潜水時間、最大水深、最低水温の計測データの呼び出し	P.104

モード	機能	参照ページ
タイムリコール	<ul style="list-style-type: none"> 時刻モードや各計測モードで手動記録した日時のデータの呼び出し 	P.136
ストップウォッチ	<ul style="list-style-type: none"> 経過時間の計測 	P.142
タイマー	<ul style="list-style-type: none"> タイマーの設定、計測 	P.144
アラーム	<ul style="list-style-type: none"> アラーム時刻の設定 アラームのオン / オフ 時報のオン / オフ 	P.148
ワールドタイム	<ul style="list-style-type: none"> 世界 48 都市 (31 タイムゾーン) + UTC の時刻を表示 	P.154
温度計測	<ul style="list-style-type: none"> 現在地の温度を表示 	P.158
タイド / ムーン	<ul style="list-style-type: none"> 指定した日時の潮の干満 (タイドグラフ) と月の形 (ムーンフェイズ) / 月齢を表示 	P.164

モードの切り替え

右記のボタン操作で、時刻モードとダイビングモード、方位計測モードに切り替わります（その他のモードに切り替えるときは、56 ページをご覧ください）。

✓ 重要

- どのモードからでも、ダイビングモードに切り替えができます。
- 方位計測モードに切り替えるには、まず時刻モードに切り替えてください。

時刻モード



ダイビングモード

方位計測モード

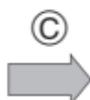


- ※1 船上などの水上で © ボタンを約 3 秒間押し続けます。ボタン操作音が設定されているときは、ピピッと鳴った後、ピーと高い音が鳴ります。
- ※2 水深 1.4m 以浅（船上などの水上含む）のときに、© ボタンを約 3 秒間押し続けます。ボタン操作音が設定されているときは、ピピッと鳴った後、ピーと高い音が鳴ります。

◎ ボタンを押すごとに、以下のモードに切り替わります。

時刻モード

ダイビングログモード



受信モード



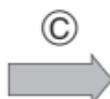
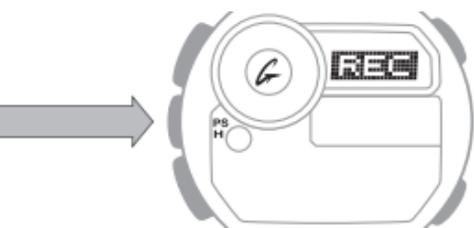
タイド/ムーンモード

温度計測モード



タイムリコールモード

ストップウォッチモード



タイマーモード



ワールドタイムモード

アラームモード



参考

- ダイビングモード以外で操作しているときは、**◎** ボタンを1秒間押し続けると時刻モードに戻ります。ボタン操作音が設定されているときは、このときピピッと2回高い音が鳴ります。
- ボタン操作音が設定されているときは、**◎** ボタンを押すごとに音が鳴ります。時刻モードに戻るときは、高い音が鳴ります。

 ボタン操作音の設定 / 解除…P.186

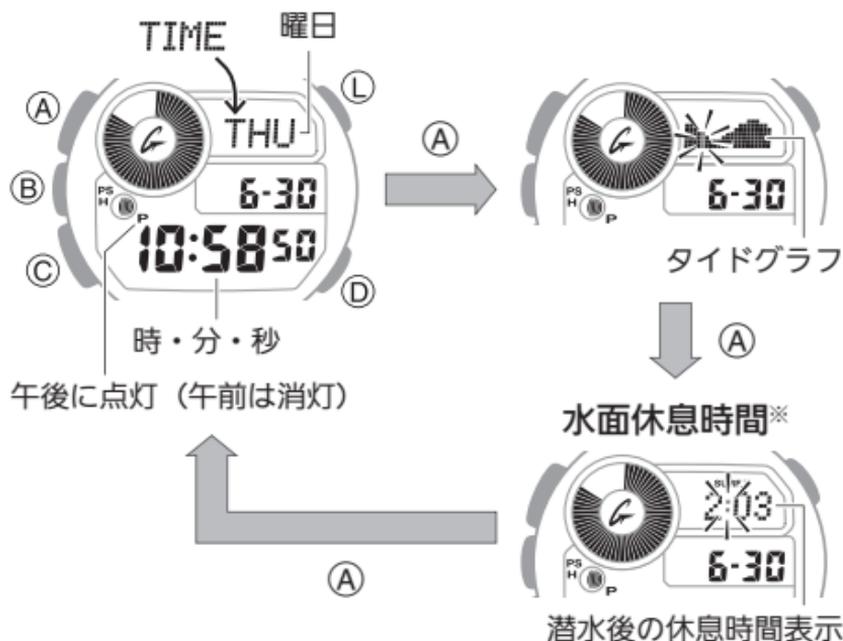
- 充電量が不足しているときは音が鳴りません。このときは充電してください。

 充電するには…P.30

時刻モードでは、(A) ボタンを押すごとに上段の表示が切り替わります。

重要

- 潜水後は、自動的に水面休息时间（サーフェスタイム）を計測します。
- 潜水後 48 時間経過すると、水面休息时间（サーフェスタイム）の計測を終了します。



※ 潜水後、48 時間以降は表示しません。

共通機能

以下の機能と操作は各モードに共通しています。

◆時刻モードへの自動切り替え

- 各モードで何も操作せず時間が経過すると、時刻モードに自動的に戻ります。

モード	経過時間
ダイビングログ、タイムリコール、 タイド / ムーン、アラーム、受信	約 3 分間
温度計測	約 1 時間
時刻などの設定中 (デジタル表示が点滅)	約 3 分間
方位計測	約 1 分
水深計測 水中	約 6 時間
水上潜水前	約 30 分
水上潜水後	約 10 分

◆早送り

- 各モードで設定をするとき、**Ⓧ** および **Ⓛ** ボタンを押して設定内容を変更します。
- Ⓧ** または **Ⓛ** ボタンを押し続けると、設定値を早送りできます。

◆グラフィック

現在時刻あるいは計測値の分・秒に連動します。



時刻モード、ワールドタイムモードでは1秒単位で点灯します。

60秒を超えると1秒ずつ消灯します。

ダイビングログデータ表示では1分単位で点灯します。

60分を超えると1分ずつ消灯します。



ダイビングモードの潜水時間の計測、ストップウォッチモード、タイマーモードでは1分単位で点滅します。

60分を超えると1分ずつ消灯します。

都市の設定と時計の合わせ方

時刻モードでは、現在の時刻と日付を設定・表示します。ホーム都市を設定して電波を受信すれば、自動的に正しい時刻と日付を表示することができます。

✓重要

- 電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻を設定してください。

 12/24 時間制、時刻、日付の調節…P.67

ホーム都市、サマータイムの設定

ホーム都市は、都市コード一覧表の48都市(31タイムゾーン) + UTCの中から、この時計を使用する場所と同じタイムゾーンの都市を設定します。また、使用する国や地域に応じてスタンダードタイムまたはサマータイム (DST) の設定をします。ホーム都市を正しく設定しないと、電波を受信できる場所においても受信できないほか、ワールドタイムモードで時刻を正しく表示しない原因になります。

 UTC (協定世界時) とタイムゾーン…P.228

 都市コード一覧表…P.230

✔ 重要

- 日本で使用する場合は、ホーム都市を東京（TYO）に設定します。

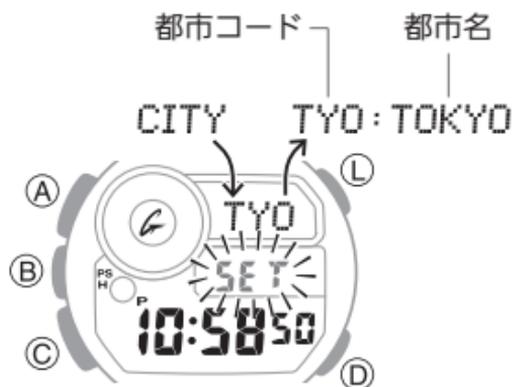
💬 参考

- サマータイムとは、DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

◆ホーム都市、サマータイムを設定する

①時刻モードで、**(A)** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CITY] を表示したら指を離します。

- 都市コードと都市名（英語）を流れるように表示します。
- 2～3分間何も操作しないと、自動的に設定画面を終了します。

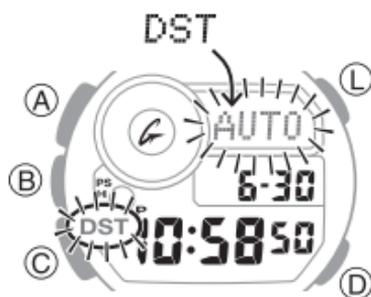


② **(D)** または **(L)** ボタンを押して、都市を選びます。

- 設定したい都市を表示するまで、**(D)** または **(L)** ボタンを押します。
- **(D)** または **(L)** ボタンを押し続けると早送りできます。

③ **(C)** ボタンを押します。

- ④ ① ボタンを押して、サマータイム (DST) の設定を選びます。



- ① ボタンを押すごとに以下のように設定が切り替わります。

DST AUTO	電波を受信すると自動的にスタンダードタイム / サマータイム (DST) を切り替えます。
DST OFF	スタンダードタイムを表示します。
DST ON	サマータイムを表示します。

5 ④ ボタンを押します。

設定が完了しました。

- 上段の表示は ④ ボタンを押して切り替えてください。

 参照…P.59

- サマータイムを設定すると時刻モード画面に、[DST] を表示します。

参考

- [DST] [AUTO] の設定は、電波を受信可能な都市コードをホーム都市に設定しているときのみ有効です。
- 電波の受信に対応していない地域は、[DST] [OFF] または [DST] [ON] のいずれかを選択します。
- ホーム都市を「UTC」に設定しているときは、サマータイム (DST) の設定は切り替えできません。

12/24 時間制、時刻、日付の調節

電波を受信できない地域で使用するときは、時刻と日付を手動で合わせます。

✔ 重要

- 電波を受信できる地域で使用しているときは、受信による時刻と日付の修正をおすすめします。

◆時刻と日付の合わせかた

- ① 時刻モードで、**A** ボタンを2秒以上押し続けます。
[SET] [Hold] が点滅した後、[CITY] を表示したら指を離します。

- 都市コードと都市名（英語）を流れるように表示します。

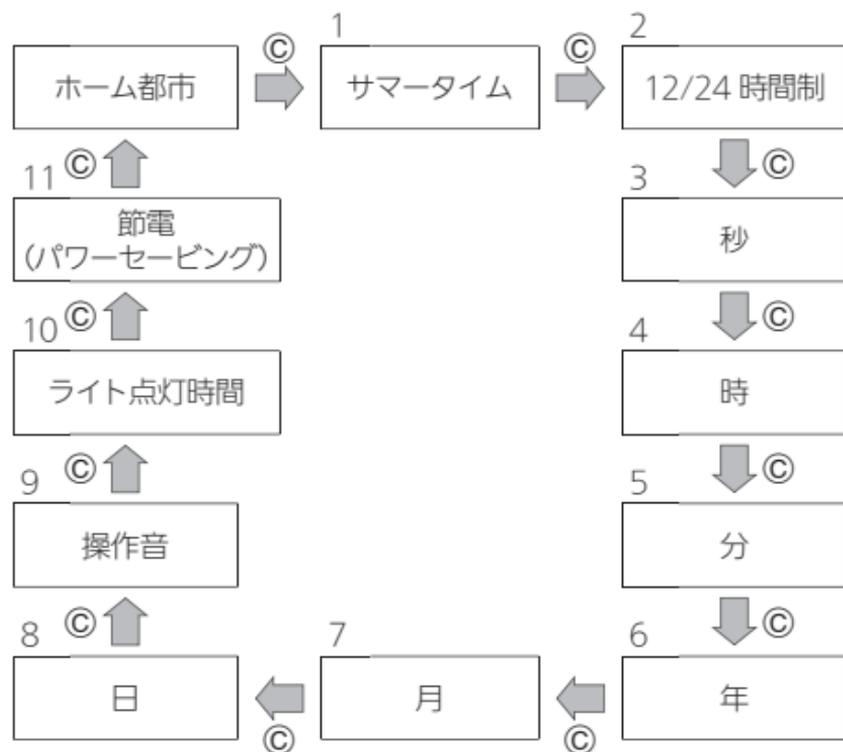
 ホーム都市、サマータイムの設定…P.62

✔ 重要

- ホーム都市を設定する前に他の設定をしないでください。

② ㊟ ボタンを押して、設定する項目を選びます。

㊟ ボタンを押すごとに以下の順序で項目が切り替わります。



参考

- 左図の数字は、◎ ボタンを押す回数を示します。
 -  ボタン操作音の設定 / 解除…P.186
 -  点灯時間を切り替える…P.184
 -  節電(パワーセービング機能)の設定 / 解除…P.188

③ ⑤ または ④ ボタンを押して、以下の設定を変更します。

表示	変更項目	操作
TYO	都市コード変更	⑤ または ④ ボタンを押す
AUTO	サマータイムとスタンダードタイムを切り替え	⑤ ボタンを押す
12H	12 時制 (12H) と 24 時制 (24H) を切り替え	⑤ ボタンを押す
50	秒を「00」にリセット - 30 ~ 59 秒のときは 1 分 繰り上がります	⑤ ボタンを押す
^P 10:58	「時」「分」の変更	⑤ または ④ ボタンを押す
2016	「年」の変更	⑤ または ④ ボタンを押す
6-30	「月」「日」の変更	⑤ または ④ ボタンを押す

4 ④ ボタンを押します。

設定が完了しました。

- 上段の表示は ④ ボタンを押して切り替えてください。

 参照…P.59

参考

- 12 時間制の場合、正午から午後 11 : 59 までは午後を示す [P] が点灯します。24 時間制の場合、[P] は点灯しません。
- 日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。
- 年月日を設定すると自動的に曜日も設定されます。

ダイビング機能の使い方

本機は、ダイビングモードに切り替えて潜水を開始すると、自動的に潜水時間、水深、水温を計測し、ログデータも自動的に記録します。

また、潜水を終了すると、水面休息时间（サーフェスタイム）を表示します。

✓ 重要

- 事前に充電レベルが2になるまで充電をしてから、ダイビングにご使用ください。
- 潜水の前に、船上など水上でダイビングモードに切り替えてください。
- センサー計測が [ERR] になっても現在時刻と潜水時間は表示し続けます。
- 充電量が少なくなるとセンサー計測ができなくなりますが、現在時刻と潜水時間は表示し続けます。

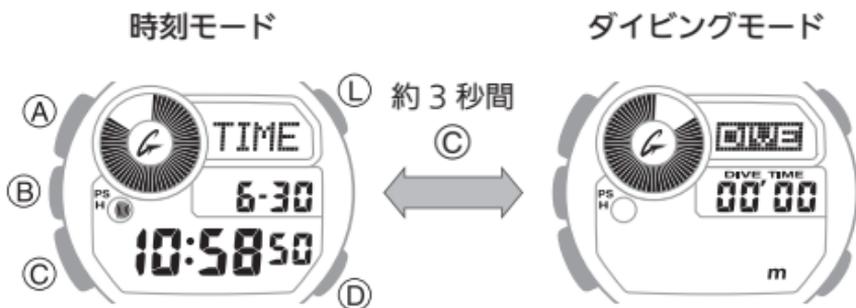
☰ 参考

- ダイビング機能の計測内容と計測範囲についての詳細は、「ダイビング機能の計測内容と範囲」（84 ページ）を参照してください。

潜水前

- 船上などの水上で、**ⓐ** ボタンを約 3 秒間押し続け、**[DIVE]** を表示したら指を離します。ダイビングモードに切り替わります。

 モードの切り替え…P.54



◆水深自動 0m リセット (水深 0m の設定)

ダイビングモードへは潜水前に切り替えてください。切り替えたときの周囲圧を水深 0m と設定し (82 ページ参照)、以降、自動的に水深、水温および潜水時間を計測します。

潜水中（自動計測&ログデータメモリー）

ダイビングモードで潜水を開始すると、1.5m 以深を感知後、自動的に潜水時間の計測を開始します。また、このときの時刻を「潜水開始時刻」としてメモリーします。

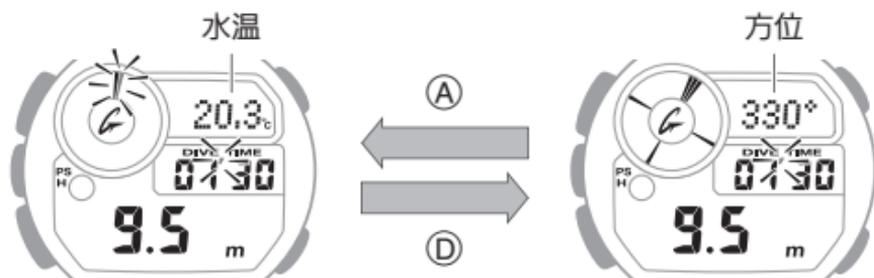
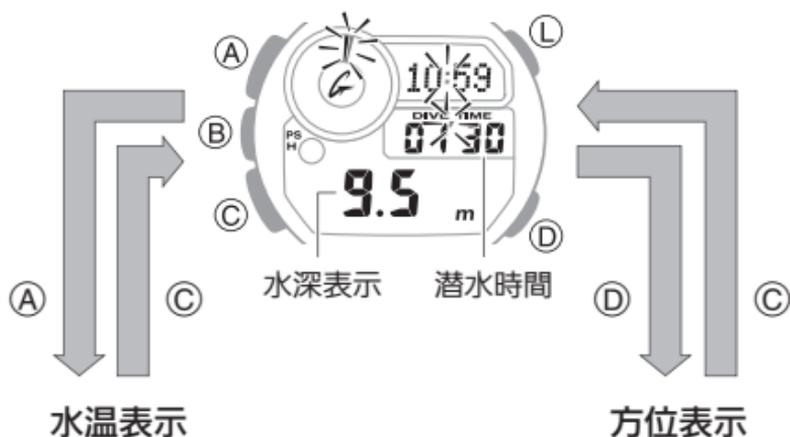
◆水温を表示する

- 潜水中に ④ ボタンを押すと、水温を約 3 秒間表示します。

◆方位を計測する

- ダイビングモードのときに ⑤ ボタンを押すと、水深を計測しながら方位を約 20 秒間表示します。

ダイビングモード



継続潜水待機状態（水深 1.4m 以浅）

潜水中の状態から水深 1.4m 以浅を計測すると、以下の継続潜水待機状態になります。

- 画面上の [DIVE TIME] マークが点滅して、潜水時間計測が一時停止状態になる
- ログメモリーも一時停止状態になる
- 浮上速度警告機能は作動する
- 水深 1.4m 以浅でも水深の計測表示をする

◆ 継続潜水待機状態になると、水面休息时间（サーフェスタイム）の計測を開始

- 水面休息时间が 10 分経過すると自動的に時刻モードに切り替わり、ログメモリーも終了します。
- 時刻モードに切り替わっても、水面休息时间の計測は継続します。

◆ 継続潜水待機状態から再び潜水をして、水深 1.5m 以深を計測すると、潜水時間とログメモリーも継続する

- 再び水深 1.5m 以深を計測すると、水面休息時間を [0] にリセットします。

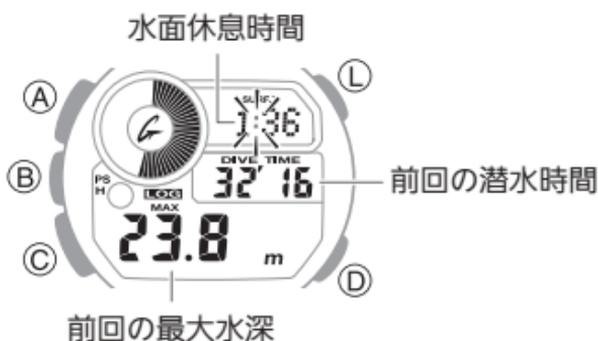
ログデータを表示する

● 継続潜水待機状態または潜水前待機状態※で、

① ボタンを押します。

- 前回のダイビングログデータを 3 秒間表示します。
- ダイビングログデータの表示中に ③ ボタンを押してもログデータ表示が解除されません。
- 水面休息時間が 48 時間以上の場合は、[-:-] を表示します。

ログデータ表示の見方は次のとおりです。



※ 潜水前の水深 0 m～ 1.4 m は潜水前待機状態になります。

潜水後

- 船上などの水上で、水深 1.4m 以浅のときに、
◎ ボタンを約 3 秒間押し続けます。[Hold]
[TIME] を表示した後に、[Hold] [TIME]
が消えたら指を離します。

時刻モードに切り替わります。

- 潜水中（水深 1.5m 以深）では ◎ ボタンを押しても時刻モードには戻りません（誤操作防止のため）。

◆ 反復潜水の場合

- 潜水が終了したら、一度時刻モードに切り替え、次に潜水する前に再びダイビングモードに切り替えてください。

時刻モードへの自動復帰

◆潜水前

- 水面（水深 0m）においてダイビングモードのまま 30 分経過すると、ピーと高い音が鳴り自動的に時刻モードに切り替わります。
- 水面移動などで水面で長時間経過した場合は、潜水前に必ずダイビングモードになっていることを確認してください。

◆潜水中

- 潜水時間が 6 時間を超えた場合は、ピーと高い音が鳴り自動的に時刻モードに切り替わり、それまでの潜水時間は [6:00] とメモリーします。

◆潜水後

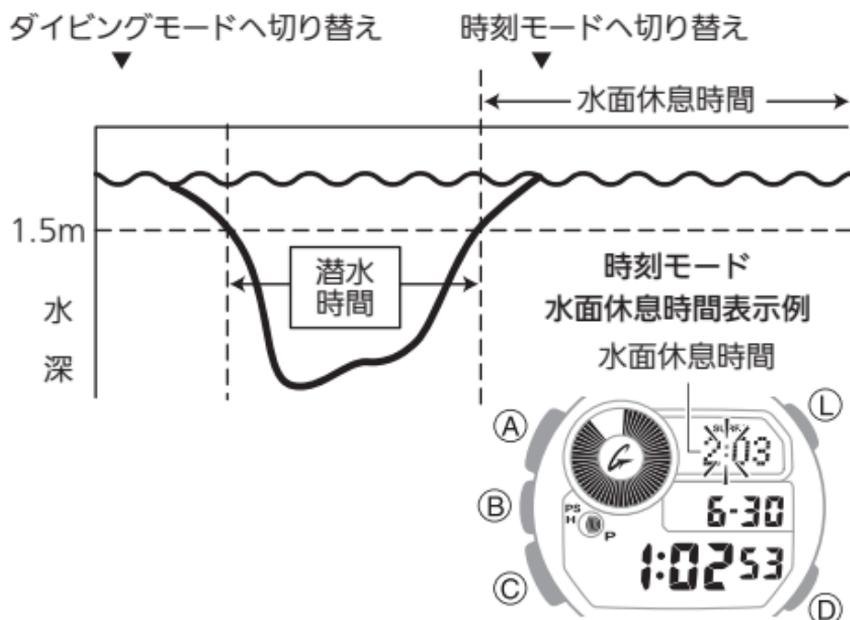
- 1.4 m 以浅で水面休息时间（サーフェスタイム）が 10 分経過すると、ピーと高い音が鳴り自動的に時刻モードに切り替わります。

潜水が終了すると水面休息时间（サーフェスタイム）を計測

◆水面休息时间（サーフェスタイム）の計測

本機は反復潜水に備え、潜水終了時からの経過時間を水面休息时间として自動的に計測する機能をもっています。水面休息時間は48時間まで計測できます。途中で反復潜水をした場合、その潜水終了後から計測をやり直します。

水面休息时间計測例



◆水面休息時間を表示するには

- 時刻モードで、**A** ボタンを押します。
 - 水面休息時間計測中のときのみ表示します。

水面休息時間



知っておくと便利な機能

◆水深手動 0m リセット（水深 0m の設定）

✓重要

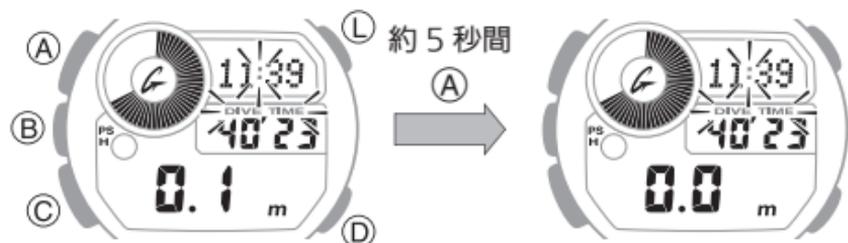
- 水深 1.5m 以深では誤操作防止のため、この機能は操作ができません。

通常、本機はダイビングモードに切り替わった直後、最初に検出した気圧を自動的に水深 0m として設定します。この機能は、水中でダイビングモードに切り替えてしまった場合に、手動で水深 0m に再度設定するための機能です。

●ダイビングモードで、**Ⓐ** ボタンを約 5 秒間押し続けます。

そのときに検出した圧力を水深 0m として設定します。

ダイビングモード



◆水深計測開始エラー

ダイビングモードへの切り替えを忘れて潜水を開始し、水深 1.5m 以深でダイビングモードへ切り替えた場合、標準気圧 1013hPa を水深 0m とした場合の現在の水深を表示します。

- ただし水面の気圧を 0m とした水深ではないので誤差が大きくなります。
- このとき注意マーク [!] が点滅します。
- 潜水時間はモードを切り替えてから計測を開始するので、実際の潜水時間よりも短く表示されます。



注意マーク

ダイビング機能の計測内容と範囲

水深の計測

◆計測内容および計測範囲

潜水時間	計測単位 1秒 計測範囲 5時間59分59秒 (6時間)
水深計測	計測単位 0.1m 計測範囲 0~80m
方位計測	計測単位 1° 計測範囲 0~359°
水温計測	計測単位 0.1℃ 計測範囲 -10℃~60℃
水面休息時間 (サーフェスタイト)	計測単位 1分 計測範囲 47時間59分(48時間) ● 48 時間以降は表示しません。

注意

- 急激な温度変化（気温と水温との差、水温の変化など）がある場合、時計がその水温に慣れるまで（実際の水温を表示するまで）、約5分かかります。

◆表示内容

表示範囲	0.1m～80.0m 80.0m以上の水深では [dEEp] 表示 範囲外を計測すると、[-.-.] 表示
計測間隔	約1秒ごと※ 水深0.3m以深を計測するまでは、節電のため10秒ごとに計測する

※ 本機はダイビングモードに切り替えた後、水深0.3m以深を計測すると、1秒計測に切り替わります。

◆水深と水圧について

水中では、水深が深くなるにしたがい水圧が大きくなります。海水（比重1.025）では、水深が10m深くなるごとに1気圧（1.03kg/cm²）ずつ水圧が増していきます。本機では、水深センサーにより水圧を検出し、水圧と水深の関係より海水における水深を表示します。

潜水時間の計測

◆計測範囲（最大 6 時間）

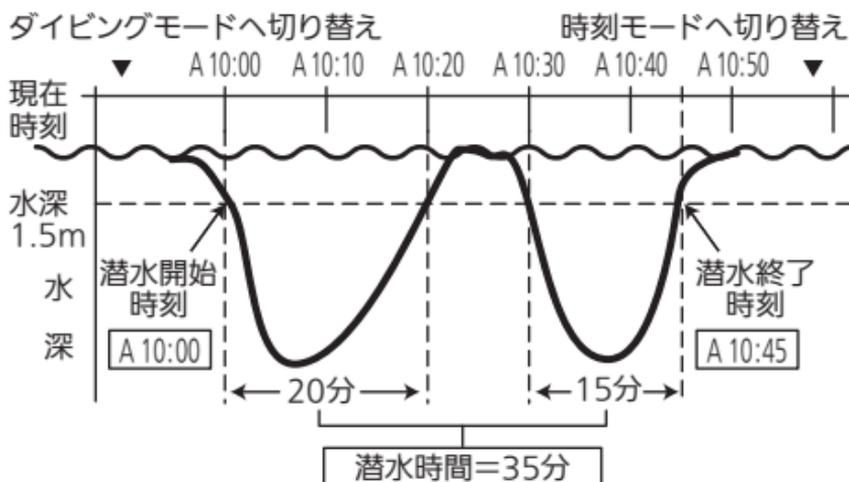
6 時間を経過すると、自動的に時刻モードに切り替わり、ログデータの潜水時間を [6:00] とメモリーします。

- 180 分未満：分・秒表示、1 秒単位で計測
- 180 分以降：時・分表示、1 分単位で計測

◆潜水時間の計測

潜水時間の計測は、水深 1.5m を境に自動的にスタートとストップをします。ダイビングモードに切り替えて、最初に 1.5m 以深に潜ったときの時刻を潜水開始時刻とし、そこから水深 1.5m 以深にいる時間を積算します。下記例の場合、1.5m 以深にいる間の時間の合計 $20 + 15 = 35$ 分となります。

潜水時間計測例



◆潜水開始

ダイビングモードに切り替え、最初に 1.5m 以深に潜ったときの時刻を潜水開始時刻とします。

◆潜水終了

潜水後、最後に（時刻モードに切り替わる直前）1.5m 以深の水深から 1.4m 以浅の水深（表示は 0.0m）に浮上したときの時刻を潜水終了時刻とします。

- 潜水終了時刻は記録しません。

◆潜水時間

本機で定義する潜水時間とは、潜水開始後、水深 1.5m 以深での経過時間を積算表示した時間です。

水面休息時間が 10 分以内の再潜水（継続潜水）をした場合は、潜水時間も継続して積算します（87 ページの図を参照）。

●注意

- 本機では、ダイビングモードへ切り替えた後、次に時刻モードへ切り替えるまでは、すべて同一の潜水とみなします。
- 反復潜水のように別ログとして扱う場合は、一度時刻モードに切り替え、再びダイビングモードに切り替えて使用してください。
- 途中で「浮上・潜水」を繰り返すような潜水の場合、水面での経過時間は潜水時間に含まれません。

計測エラーになったときは

◆ マイナス水深エラー

以下のような環境下で使用したとき、実際にはありえない水深（マイナス水深）を計測することがあります。

- 誤って水中（0.1 m～1.4m）でダイビングモードに切り替えてしまい、そのまま浮上もしくは潜水後に水上に上がった場合
- 異常な気圧変化のある環境下での使用

このようなときには、マイナス水深エラーとなり、注意マーク [!] が点滅します。なお、水深エラーはほとんどの場合水面で起こるため、その後、自動的に 0m リセットをやり直します。

注意マーク [!] が点滅しているときは、マイナス水深エラーが起こったことを示し、表示データの誤差が大きくなります。

マイナス水深エラーは故障ではありませんので、以後、通常どおり計測できます。しかし、水深エラー計測前に計測されたデータは誤差が大きいため、一度時刻モードに戻し、再度ダイビングモードに切り替え、最初から計測をやり直すことをおすすめします。

マイナス水深エラー表示



- マイナス水深エラーの表示後、通常どおり計測およびログデータのメモリーは行われますが、注意マーク [!] は点滅したままとなります。

◆センサーエラー

過度の衝撃などによりセンサーの故障および接触不良などの原因で計測不可能となったときはセンサーエラーとなり、[Err] 表示と注意マーク [!] が点滅します。

水深センサーエラー



- エラーが発生した場合でも、潜水時間の計測が開始されているときは、そのまま続きます。
- ③ ボタンを約3秒間押し続けると、時刻モードに切り替わります（潜水終了）。

センサーエラーを検出した場合、潜水での使用を中止し、速やかに修理サービス窓口にて修理を依頼してください。

使用注意事項

◆使用温度に大幅な変化がある場合

- 本機は、精密な圧力センサーにより計測を行っていますので、使用中に大幅な温度変化が生じると正しい計測ができないことがあります。

- 直射日光下に本機を放置した場合
- 日中自動車内に本機を放置した場合

このような場合には、水温に2～3分位時計をならしてからご使用ください。

また、使用中に大幅な温度変化が生じると、場合によっては水面で水深が0.1～0.3 mの値を表示したり、マイナス水深エラーを起こすことがあります。

 計測エラーになったときは…P.89

- 本機の水深センサーと温度センサーの使用温度範囲（精度保証）は-10℃～60℃です。また、方位センサーの使用温度範囲（精度保証）は10℃～40℃です。アイスダイビングのような使用温度範囲外での使用は、誤計測や誤動作の原因になります。

◆水深の変動のはげしい場合

本機は約 1 秒間隔で水深計測を行い、表示します。もし、水深の変動がはげしい場合、表示している水深と実際的水深にずれがあることがあります。なお、スポーツダイビングでは、スクイーズによるトラブル、肺のトラブル、減圧症などの危険を避けるため、毎分 10m 以内の潜降速度、浮上速度をおすすめします。

◆高所 / 淡水におけるダイビング

本機はダイビングモードに切り替えたときの周囲圧を 0m として設定 (0m リセット) するため、高所でも計測することは可能です。また、標高がおおよそ 5000m を超える高所 (気圧 530hPa 以下) では [LIMIT ERR] となり、計測ができません。

本機では海水 (比重 1.025) で換算した水深を表示しますので、淡水での実際的水深は表示している水深よりも約 2.5% 深いことになります。

例)

20m (表示している水深) \times 1.025 = 20.5m (実際的水深)

また、本機の浮上速度警告は、1分当たり 10m 以上の速度で浮上をすると警告しますが、これは、海中でのダイビングにおける速度設定になります。

ダイビングをする場所の標高が高くなればなるほど、気圧は海水面より低くなるため、減圧症などの危険に対する条件が海中に比べ厳しくなります。

なお、高所 / 淡水におけるダイビングでは、特別の安全教育を受けた後で、ご使用ください。

ダイビングモードに関する Q&A

1. 注意マーク [!] の点灯は何を意味しますか

注意マークの点灯は、ダイビングモードにおいて何らかの異常を検出したことを意味します。注意マークの点灯したログデータは、信頼できるものでないため、潜水計画などには利用しないでください。

 注意マーク [!] が点滅しているときは…P.110

2. 潜水中に電池切れになったときは

潜水中にバッテリーエラー [H] [M] [L] マークが点滅したときは、潜水時間の計測と現在時刻は表示し続けますが、水深、水温、方位の計測はできなくなります。

また、このときのログデータは、エラーが起きるまでの記録は残りますが、それ以降のログデータはメモリーしません。

3. エントリーしたときにメモリーが開始されてしまった

勢いのよいエントリーをした場合など、エントリー直後、水深 1.5m 以深の深さまで達してしまうと、タイミングによってはメモリーが開始されてしまう場合があります。再び 1.4m 以浅になれば、潜水時間は一時停止状態となり、そのままダイビングをすると、潜水時間の計測が続きから再開されます。

4. ログデータがいっぱいになったらどうなりますか

ログデータは最大 20 本まで記録できます。ダイビングモードのときに、この状態で次のログを記録することはできませんが、一番古い（1 本目の）データが消去されます。

5. 水深は何 m まで計測できますか

水深計測は 80m までで、80m を超えたときは [dEEp] 表示となりますが、80m 以浅に戻ると通常どおりの水深を表示します。また、このときのログデータは最大水深 [dEEp] となります。

6. 温度（水温）は何℃まで計測できますか

温度の計測範囲は-10℃から60℃までとなり、範囲外になると[-.-℃]と表示します。

7. 潜水時間は、何時間まで計測できますか

潜水時間の計測は1ログデータあたり6時間までで、6時間を超えると自動的に時刻モードに戻ります。このとき、6時間までのログデータを自動的にメモリーします。

8. ログの区切り（継続潜水と反復潜水）はどのように判断するのですか

潜水後、水面（水深1.4m以浅）において

継続潜水	水面休息時間が10分以内に再潜水（水深1.5m以深）した場合は、ログは継続してメモリーされ同一の潜水とみなします。
反復潜水	◎ ボタンを約3秒間押し続けて、時刻モードに切り替えます。（または、水面休息時間が10分を超えたときにも自動的に時刻モードに戻ります。）そのあとに再度ダイビングモードで計測すると、別ログとして記録されます。

9. 水中でのボタン操作はできますか

水中でのボタン操作を行っても本機の性能に支障はありません。① ボタンによるライトの点灯、② ボタンによる水温表示と③ ボタンによる方位計測、④ ボタンによるタイムスタンプなどができます。

10. ダイビングモードに切り替え忘れたときは

エントリー後、水中（水深＝約 1.5m 以深）でダイビングモードに切り替えた場合、正しい 0m リセットがされず水深計測開始エラー（83 ページ参照）となります。（[!] マーク点滅）また、このときを潜水開始として潜水時間を計測します。水深計測やログデータ計測はできますが、信頼できるログデータでないことを忘れないでください。

11. 時刻、カレンダーを変更したらログデータや水面休息時間はどうなりますか

ログデータや水面休息時間は時刻、カレンダーを変更しても変わりません。

12. 潜水中にライトを使いすぎるとどうなりますか

ライトや方位計などを使いすぎるとバッテリーエラーとなって、ライトの点灯やセンサー計測の機能が制限されてしまいます。バッテリーエラーのときは、現在時刻の表示と潜水時間（最大6時間まで）は表示し続けます。

13. バッテリー（二次電池）の持続時間を長持ちさせるコツは

本機は、ダイビングモードに切り替えることで圧力センサーを駆動させていますので、ダイビングモードでは消費電流が大きくなります。つまり、ダイビングモードでの使用頻度が多くなればバッテリー（二次電池）の持続時間が短くなります。ダイビングモードへの切り替えは潜水直前に行い、潜水終了したらなるべく早く時刻モードに切り替えると電池寿命が長持ちします。

14. 高所潜水に使用できますか

本機はダイビングモードに切り替えたときの周囲圧を 0m として設定 (0m リセット) するため、高所でも計測することは可能です。また、標高がおおよそ 5000m を超える高所 (気圧 530hPa 以下) では [LIMIT ERR] となり、計測ができません。ただし、水深は海水 (比重 1.025) を基準として表示しますので、淡水での実際の水深は表示している水深よりも 2.5% 深いこととなります。

$$\text{淡水での水深} = \text{表示水深} \times 1.025$$

また、本機の浮上速度警告は 1 分当たり 10m 以上の速度で浮上をすると警告しますが、これは、海中でのダイビングにおける速度設定になっております。ダイビングをする場所の標高が高くなればなるほど気圧は海水面より低くなるため、減圧症などの危険に対する条件が海中に比べ厳しくなります。

なお、高所潜水 / 淡水ダイビングをするときは、事前に特別な教育を受けてください。

15. 飛行機に持ち込む際に、注意することはありますか

飛行中にダイビングモードに切り替えた場合、圧力変化により潜水状態になることがあります。潜水状態ではダイビング中の誤操作防止のため、◎ ボタンを約3秒押し続けても時刻モードに切り替わらないようになっています。このようなダイビング中ではない緊急の場合においては、◎ ボタンを約10秒間押し続けると、強制的に時刻モードに切り替えることができます。あくまで緊急用として設けている機能のため、ダイビング中はこの機能を使用しないでください。

16. 飽和潜水には対応しておりますか

飽和潜水には対応していません。

本機を飽和潜水に使用した場合、故障や破壊の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

17. 方位計測において異常磁気検出状態（下記のように液晶表示が点滅）になってしまった

強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。
再計測しても異常磁気検出状態になるときは、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れたまま、8の字補正または3点補正をした後、計測してください。

- 🔍 8の字補正…P.124
- 🔍 3点補正…P.126
- 🔍 使用場所…P.134
- 🔍 保管場所…P.134



浮上速度警告機能

浮上速度警告機能とは、スクーバダイビング（空気ボンベ使用）において、10m/分相当以上のスピードで浮上した場合に報音と点滅で警告をする機能です。

- 速度の目安としては、自分の排気した泡の中の、小さな泡を追い越さない程度のスピードになります。
- 浮上速度違反は、減圧症を引き起こす要因となります。そのため本機では、浮上速度警告機能を OFF にすることはできないようになっています。
- 10m/分は、海中でのダイビングにおける速度設定になります。

ダイビングをする場所の標高が高くなればなるほど気圧は海水面より低くなるため、減圧症などの危険に対する条件が海中に比べ厳しくなります。

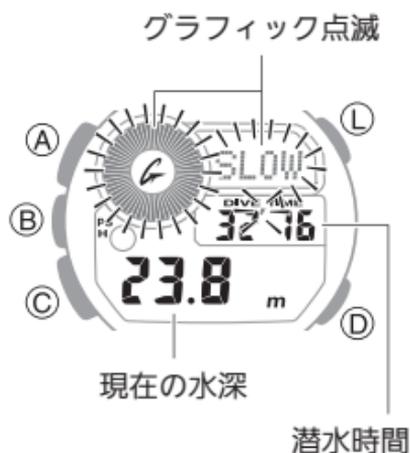
注意

- 専門的な計測機器ではありません。警告機能は目安としてお使いください。必ず専用機器と併用してください。

◆どのようにお知らせするか

5 秒間警告音（急浮上アラーム）が鳴り、[SLOW] とグラフィックが点滅します。

- [SLOW] とグラフィックは警告音の終了後も、5 秒間（合計 10 秒間）点滅し続けます。
- 警告音を止めるには、いずれかのボタンを押してください。



ログデータを見る (ダイビングログ)

ダイビングログモードでは、ダイビングモードで記録した潜水開始日時、潜水時間、最大水深、最低水温を見ることができます。

記録したデータを表示する

水深計測で記録したデータ呼び出して表示します。

① 時刻モードで、**◎** ボタンを1回押します。

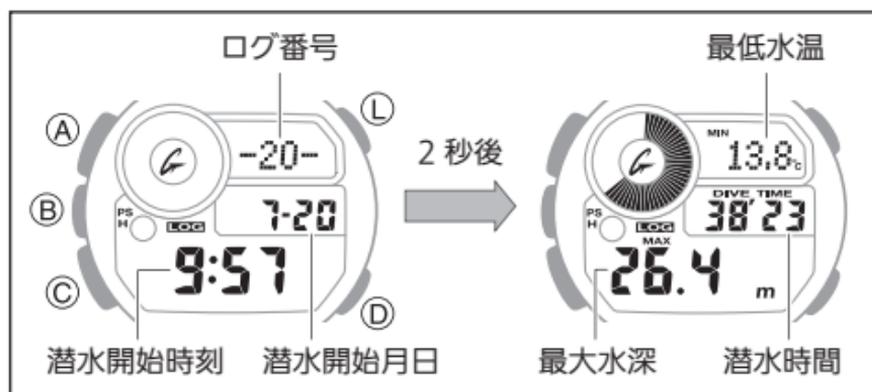
ダイビングログモードに切り替わります。

[LOG] を表示し、2 秒後に最新データを表示します。

 モードの切り替え…P.54



ログデータ表示は、以下のように切り替わります。



2 秒後 ↑ ↓ ①※



※ ① ボタンを押すと 2 秒間、記録した潜水開始日付 (年月日)、時刻を表示します。

② ④ ボタンを押して、データを選びます。



- 記録したデータは ④ ボタンを押すごとに、最大で 1 ([-01-]) から 20 ([-20-]) まで選ぶことができます。すでに 20 本のメモリーがある場合は、古いデータを自動的に削除して、最新のデータをメモリーします。
- ④ ボタンを押すごとに最新のデータから 1 回前、2 回前、3 回前…とさかのぼって見ることができます。
- ④ ボタンを押し続けると、データを早送りできます。
- 古いデータになるごとに、ログ番号は小さい番号になります。

ログデータを選んで消去する

- ① ダイビングログモードに切り替えます。
- ② **Ⓧ** ボタンを押して、消去するデータを選びます。

✔ 重要

- 手順3で **ⓐ** ボタンを約5秒以上押し続けると、すべてのデータが消えてしまいます。ご注意ください。
 - 消去したデータは復帰できません。
- ③ **ⓐ** ボタンを約2秒間押し続けて、[CLEAR] [Hold] が点滅した後、[CLEAR] が点灯に変わったらすぐに指を離します。
 - データを消去すると、消去したデータの次に記録されていたデータを表示します。
 - データを消去して、すべてのデータがなくなったときは、[NO-DATA] を流れるように表示します。

すべてのログデータを消去する

- ① ダイビングログモードに切り替えます。
- ② **A** ボタンを約 5 秒間押し続けて、[CLEAR] [ALL] [Hold] が点滅した後、[CLEAR] [ALL] が点灯したら指を離します。
[NO-DATA] を流れるように表示します。
 - データがすべて消去されます。

注意マーク [!] が点滅しているときは

ダイビングモードで注意マーク [!] が点滅しているときは、計測中に何らかの異常があったか、もしくは誤った使い方をしたことを意味します。

また、注意マークはその潜水に対応するログデータでも表示（点灯）します。

注意マークが点灯しているログデータは、誤差が大きいと予測されるので、潜水計画などには利用しないでください。

また、ダイビングモードで注意マークが点滅した場合は、ログデータにその内容を CAUTION 番号として記録します。

各内容については、それぞれの項目をご参照ください。

CAUTION 番号	内容	考えられる原因	参照
C-1	水深計測開始 エラー	水中(水深 1.5m 以深)において ダイビングモード に切り替えた	P.83
C-2	マイナス水深 エラー	<ul style="list-style-type: none">• 1.4m 以浅の水 中でダイビング モードに切り替 えて浮上した• ダイビングモード に切り替えて から大幅な温 度・気圧変化 が生じた	P.89
C-3	バッテリーエラー (H、M、Lが点滅)	<ul style="list-style-type: none">• 電池が消費し て、計測できな い状態になった	P.32

CAUTION 番号	内容	考えられる原因	参照
C-4	水深計測開始 エラー ＋ マイナス水深 エラー	C-1 と C-2 の複 合エラー	P.83、 P.89
C-5	水深計測開始 エラー ＋ バッテリーエラー	C-1 と C-3 の複 合エラー	P.83、 P.32
C-6	マイナス水深 エラー ＋ バッテリーエラー	C-2 と C-3 の複 合エラー	P.89、 P.32
C-7	水深計測開始 エラー ＋ マイナス水深 エラー ＋ バッテリーエラー	C-1 と C-2 と C-3 の複 合 エ ラー	P.83、 P.89、 P.32

CAUTION 番号	内容	考えられる原因	参照
Err-1	水深センサー エラー	<ul style="list-style-type: none"> ● センサー故障・接触不良による計測不可能状態が一回でも発生した ● センサーの対応範囲外の圧力を検出したなど 	P.91

- Err-1 が頻繁に点灯するときは、故障とされますので、修理サービス窓口に修理をご依頼ください。
- C-1～C-7 が点灯するときは、使い方のエラーとなりますので、各参照ページで使い方をご確認の上、ご使用ください。

方位計測

目標物の方位を調べることができます。

✓重要

- 正確に計測するために、「方位を補正する」(122 ページ)、「方位計測のご注意」(133 ページ) をご覧ください。

方位を計測する

本機の方位計は、姿勢の制御が難しい水中において、自動で水平に補正ができます(自動水平補正機能)。ただし、地面と垂直に近ければ、角度表示が [---] になり、角度が傾き過ぎであることをお知らせします。また、潜水中には天地逆さとなる場合もあります。その際に方位を計測したときも、正しい角度を表示することが可能です。

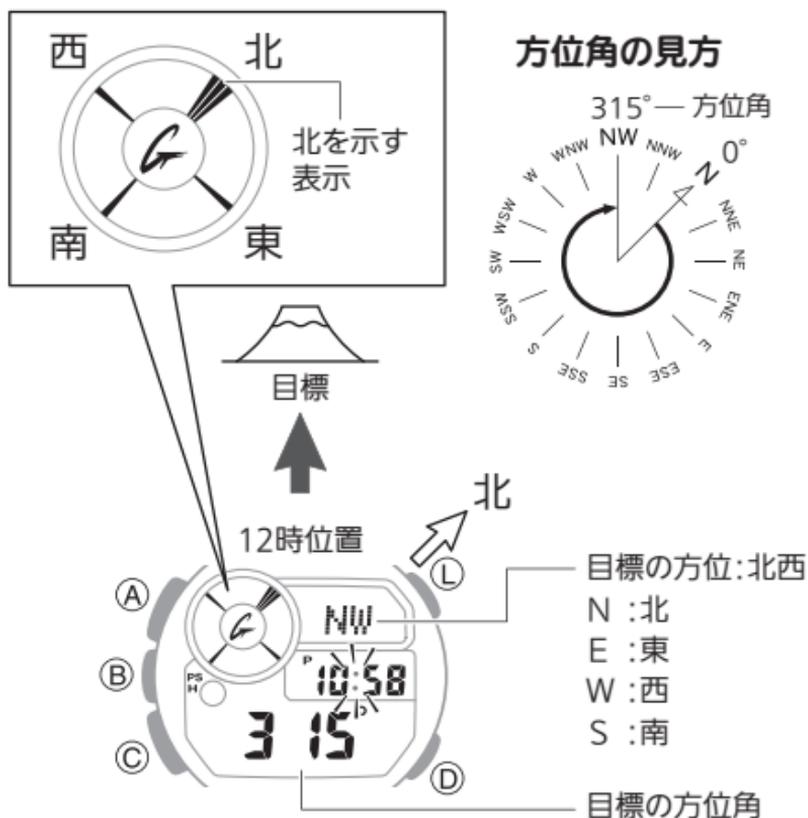
① 時刻モードにします。

 モードの切り替え…P.54

② 時計の 12 時位置を「計測したい方向」に向けます。

③ ④ ボタンを押します。

画面に [COMP] が表示され、方位計測を開始します。方位計測を開始すると約 1 秒後にグラフィックで東西南北を示します。また、目標の方位と方位角も表示します。



- 計測によって示す北方位は、磁北です。
磁気偏角補正を使って、北方位を真北に設定することもできます。

 磁北と真北…P.133

- 再計測するときは、**ⓓ** ボタンを押します。
- 約 60 秒間の計測が終わると時刻モードに戻ります。
- 途中で計測を中止したいときは、**Ⓒ** ボタンを押すと時刻モードに戻ります。

重要

- 計測後、液晶表示が点滅するときは、異常な磁気を検出したことを表しています。
強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。
- 再計測しても同じ状態になるときは、強い磁力がある場所から離れたまま、8 の字補正または 3 点補正をした後、計測してください。

 方位補正の方法…P.122

 参考

- ④ ボタンを押しても、4方位（東西南北）と目標の方位が画面に表示されないときは、4方位の代わりに、ベアリングメモリーに記録した方位が表示されている可能性があります。
- ④ ボタンを押して、記録した方位を消去してください。
-  目標方位を記録する（ベアリングメモリー）…P.121
- 時刻モードに戻るときは、③ ボタンを押します。
- 途中で計測を中止したいときも、③ ボタンを押すと時刻モードに戻ります。

◆水中での方位計の使用例

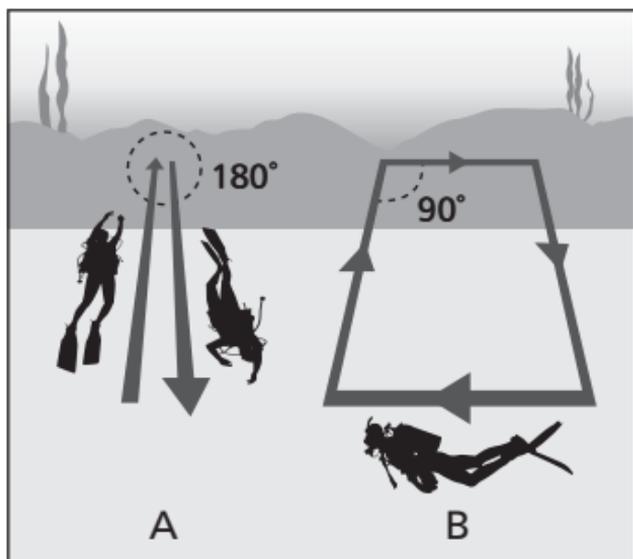
水中では、透明度が悪い場合や目印が無い場合など、目標物へ真っ直ぐ進む事が困難であったり、自分の位置や来た方角が分からなくなってしまうことがあります。

以下は、本機の方位計を用いた「水中ナビゲーション」における使用例です。

ご使用の際には、事前に「水中ナビゲーション」に関する教育を受けてからご使用ください。

水中ナビゲーション

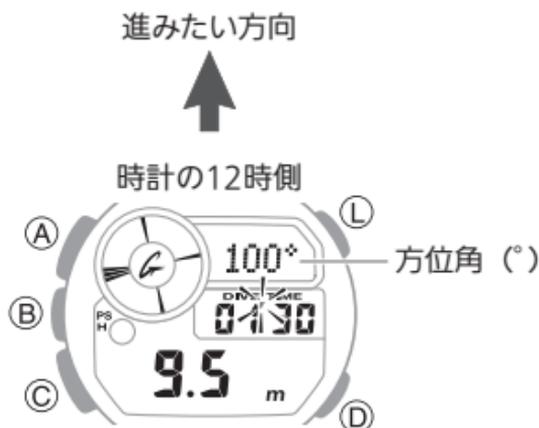
例えば、フィンキック数などで決めた距離を以下のように進みたい場合。



A: 真っ直ぐに泳ぎ、真っ直ぐに帰ってくるような往復をします。

- 進みたい方向に時計の12時側方向を合わせ、**④** ボタンを押して方位角(°)を計測します。
 - 方位を計測している間も、水深を計測しています。

ダイビングモードの画面



- 例えば、100°方向に進む場合、100°付近をキープするようにフィンキック数などを決めて、真っ直ぐに泳ぎます。
- 目的地に到着後、出発地点に戻るためには、180°向きを戻します。

④ + 180°（もしくは- 180°）にした角度（この場合は 280°）付近をキープするようにフィンキック数などを決めて、真っ直ぐに泳ぎます。

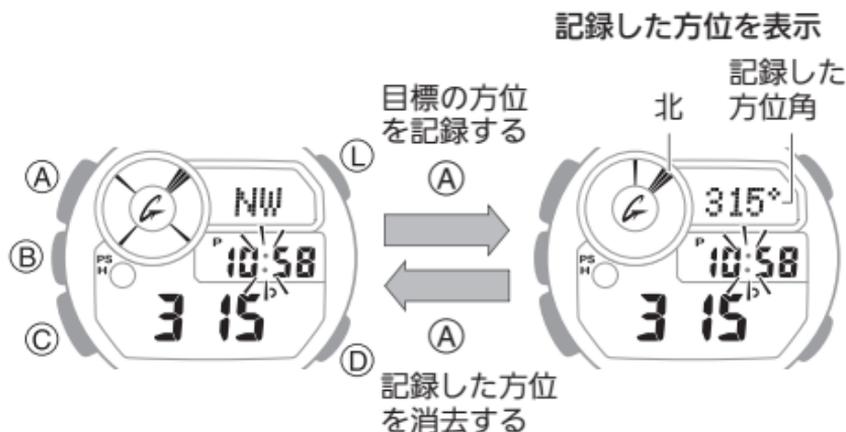
- B: 正方形や長方形を描くように、90°ずつ回転しながら、元の位置に帰ってくるように進みます。
- 上記手順 3 以降の方向変換時に + 90° ずつ回転し、反時計回りの場合は、- 90° ずつ回転します。

目標方位を記録する(ベアリングメモリー)

目標の方位を記録することができます。記録した方位を画面に表示すれば、視界がよくないときも、目標の方位に進むことができます。

- 方位計測中の60秒の間(114ページ)に、時計の12時位置を目標に向けて、**A** ボタンを押します。

目標の方位として記録します。



- 記録を消去した後、方位を計測します。

✓ 重要

- 自分が移動するにつれて目的地の方向も変化します。なるべくこまめに記録し直してください。

方位を補正する

計測の精度を上げるため、計測の前に以下の方法で方位を補正してください。

◆方位補正の方法

8の字補正 (時計を腕につけたままの状態)	正確な方位計と比較して、方角がずれている場合や、潜水前の準備でお使いください。
3点補正 (時計をはずした状態)	• どちらの補正もセンサー自体の補正が目的です。どちらかを選んで操作してください。
磁気偏角補正	真北を北方位として設定するとき、磁気偏角角度(真北と磁北との角度差)をもとに補正します。

 磁北と真北…P.133

✓重要

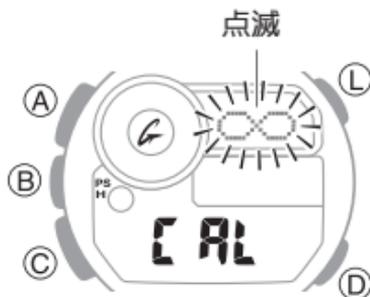
- 予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、8の字補正または3点補正をしてください。なお、強い磁力がある場所や室内（特に鉄筋コンクリート構造の建物内）では、正確な計測や補正はできません。その場合は、屋外で計測や補正をされることをおすすめします。

 方位を計測する…P.114

 使用場所…P.134

◆ 8 の字補正

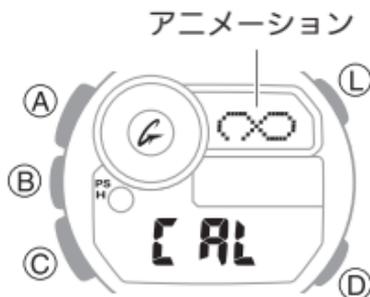
- ① 方位計測モードで、**(A)** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CAL] を表示したら指を離します。



- ② **(D)** ボタンを押します。

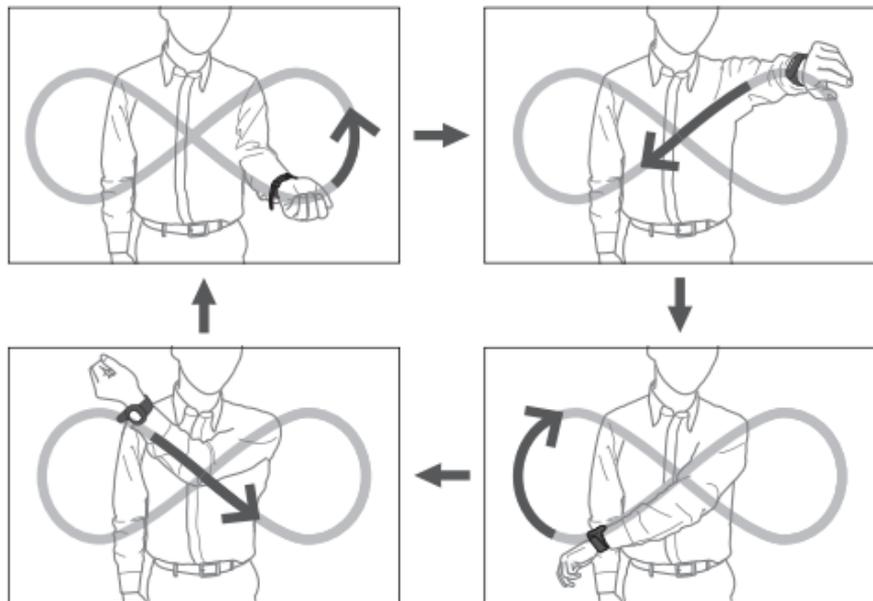
右図のように腕を動かして、8 の字補正をします。

- 8 の字補正をアニメーションで表示します。アニメーションが表示されている状態を確認した後、腕を動かしてください。



参考

- 手首をひねるように動かしてください。
- 体からなるべく離れたところで動かしてください。



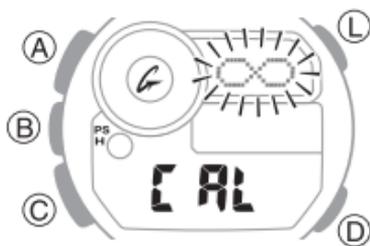
- 補正計測が成功すると [OK] を表示して、方位計測に切り替わります。これで補正の完了です。
- [ERR] が表示されたときは、Ⓧ ボタンを押して、もう一度手順 2 から操作してください。

◆ 3 点補正

✓ 重要

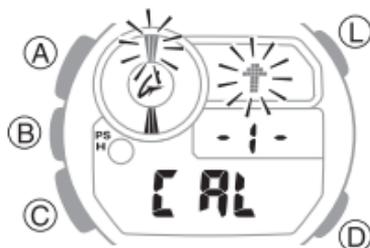
- 金属や強い磁力を帯びている物の上では、正確な補正はできません。
- セットする 2 点は正確に 180 度反対方向にしてください。
- 3 点目も正確に 180° 裏返しにしてください。

- ① 方位計測モードで、**Ⓐ** ボタンを 2 秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CAL] を表示したら指を離します。



② ㉓ ボタンを押します。

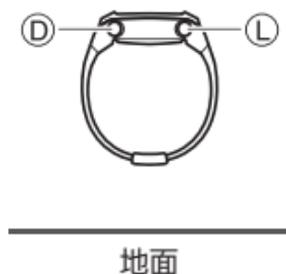
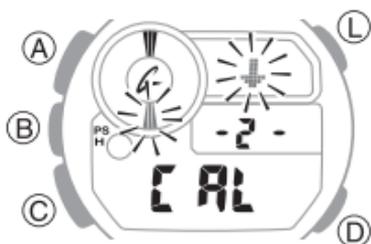
画面に [↑] [-1-] [CAL] と表示します。



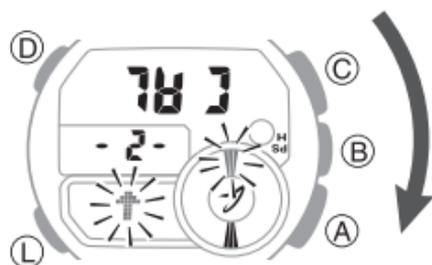
③ 図のように時計を上に向けて地面と水平に保ちながら、㉔ ボタンを押します。

1点目の補正計測を開始します。

- 補正計測中は [WAIT] を表示します。
- 補正計測に成功すると [TURN] [180°] を表示した後、[↓] [-2-] を表示します。
- 補正に失敗した場合は手順2に戻ります。再度計測をしてください。



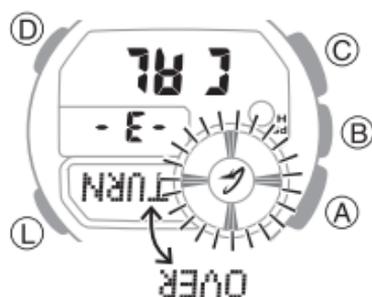
- ④ 時計を上に向けたまま出来るだけ正確に、180度回転させます。



- ⑤ 地面と水平に保ちながら、④ ボタンを押します。

2点目の補正計測を開始します。

- 補正計測中は [WAIT] を表示します。
- 補正に成功すると、[TURN] と [OVER] を交互に表示し、[- 3 -] を表示します。



- 補正に失敗した場合は手順 2 に戻ります。再度計測をしてください。

⑥ 時計を地面の方向に向くように裏返しにします。

このとき、時計の向きはどの方位でも補正計測することができます。



地面

⑦ 図のように時計を下に向けて地面と水平に保ちながら、ⓓ** ボタンを押します。**

3点目の補正計測を開始します。

- 補正計測中は [WAIT] を表示します。
- 補正計測に成功するとピーと鳴ります。また、[OK] を表示して、方位計測に切り替わります。これで補正の完了です。
- ピピピと鳴り、画面に [ERR] が表示されたときは、もう一度手順 3 から操作してください。

◆磁気偏角補正

この時計で表示する北方位を磁北ではなく、真北にするときに、以下の補正操作をしてください。

 磁北と真北…P.133

磁気偏角補正をするときは、「磁気偏角の方角（東偏または西偏）と角度」を設定します。

磁気偏角の入力は 1° （度）単位です。近い方の値を設定してください。

- 例「 7.4° （度）」の場合：「 7° （度）」に設定
- 例「 $7^{\circ} 40'$ （7度40分）」の場合：「 8° （度）」に設定

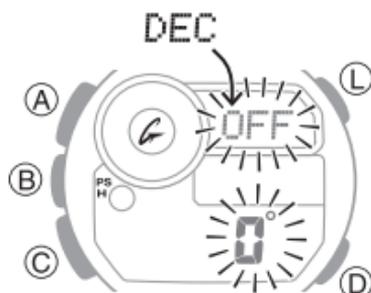
参考

- 「磁気偏角の方角（東偏または西偏）と角度」は、地形図や登山地図のような等高線が描かれた地図に記載されています。また、国土地理院のホームページで調べることができます。

重要

- 補正計測中は、時計を水平にして、動かさないでください。

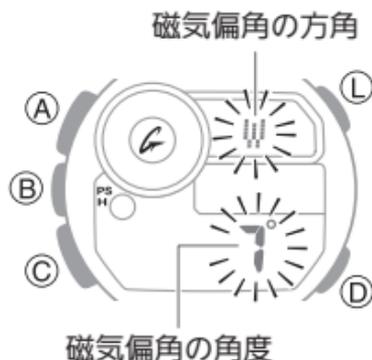
- ① 方位計測モードで、**Ⓐ** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CAL] を表示したら指を離します。
- ② **Ⓒ** ボタンを2回押します。
[DEC] を表示します。



- ③ **Ⓓ** (East: 東) または **Ⓕ** (West: 西) ボタンを押して、磁気偏角の方角と角度を設定します。

北の設定	設定値
磁北にするとき	OFF : 補正しません (磁気偏角の方角は 0° に設定)
真北にするとき	E : 磁北が真北よりも東 (東偏)
	W : 磁北が真北よりも西 (西偏)

例：地図に「西偏 7°（度）」とある場合
磁気偏角の方角「W」と、角度「7°」を設定。



- 磁気偏角の角度は、西 90° ~ 東 90° の間で設定できます。
- ① または ② ボタンを押し続けると早送りできます。

☰ 参考

- ③ ボタンと ④ ボタンを同時に押すと、磁気偏角補正が「OFF」になります。

④ ① ボタンを押します。

補正が完了しました。

方位計測のご注意

◆磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北：コンパス（方位磁針）が示す北

真北：北極点の方向

下図のように、磁北と真北は一致していません。



- 一般に市販されている地図の「北」は真北のことです。

◆使用場所

強い磁力の近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下のものから離れてご使用ください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では、正確な計測はできません。
- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。

◆保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。以下のものの近くには置かないでください。

永久磁石（磁気アクセサリーなど）、金属類、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）

◆方位計測中の動作

- 計測中の60秒間は、オートライトが点灯しません。
- 方位計測中にアラームなどの音が鳴ったときや **Ⓛ** ボタンを押してライト点灯させたときは、一時的に計測を中止し、アラーム音の後またはライト消灯後に計測を再開します。

手動記録した日時の日時のデータを見る（タイムリコール）

時刻モードや各モードで手動記録したデータを見ることができます。

データを記録する

- どのモードでも、**Ⓑ** ボタンを約 1 秒間押し続け、ピッと鳴ったら指を離します。

画面に [REC] と表示され、その時のデータが記録されます。

記録したデータを表示する

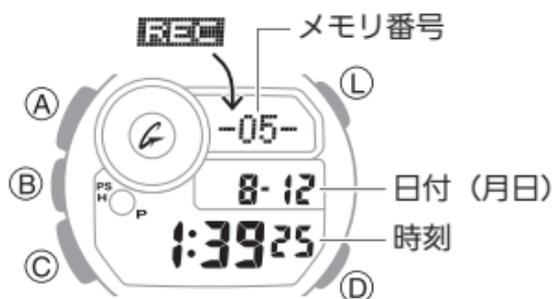
手動記録したデータを呼び出して表示します。

① 時刻モードで、**Ⓒ** ボタンを2回押します。

タイムリコールモードに切り替わります。

[REC]を表示し、約1秒後に最新データを表示します。

 モードの切り替え…P.54



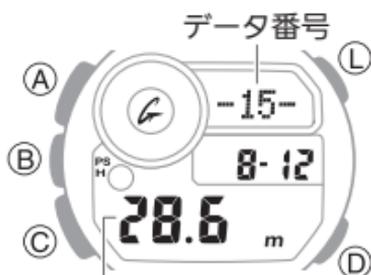
- **Ⓐ** ボタンを押すと2秒間、日付（年月日）、時刻を表示します。

② ㊦ ボタンを押して、表示したい記録データを選びます。

- 記録したデータは ㊦ ボタンを押すごとに、最大で 1（[-01-]）から 20（[-20-]）まで選ぶことができます。
すでに 20 本のメモリーがある場合は、古いデータを自動的に削除して、最新のデータをメモリーします。
- ㊦ ボタンを押すごとに最新のデータから 1 回前、2 回前、3 回前・・・とさかのぼって見ることができます。
- ㊦ ボタンを押し続けると、データを早送りできます。
- 古いデータになるごとに、メモリー番号は小さい番号になります。

◆手動記録データのモード別表示内容

ダイビングモードの場合



水深 (水温と時・分・秒を交互に表示)

方位計測モードの場合



方位 (時・分・秒と交互に表示)

その他のモードの場合



時・分・秒 月・日

温度計測モードの場合



温度 (時・分・秒と交互に表示)

- (A) ボタンを押すと、日付 (年月日)、時刻を 2 秒間表示します。

記録データを選んで消去する

- ① タイムリコールモードに切り替えます。
- ② ⑩ ボタンを押して、消去するデータを選びます。

✔ 重要

- 手順3で ⑨ ボタンを約5秒以上押し続けると、すべてのデータが消えてしまいます。ご注意ください。
 - 消去したデータは復帰できません。
- ③ ⑨ ボタンを約2秒間押し続けて、[CLEAR] [Hold] が点滅した後、[CLEAR] が点灯に変わったらすぐに指を離します。
 - データを消去すると、消去したデータの次に記録されていたデータを表示します。
 - データを消去して、すべてのデータがなくなったときは、[NO-DATA] を流れるように表示します。

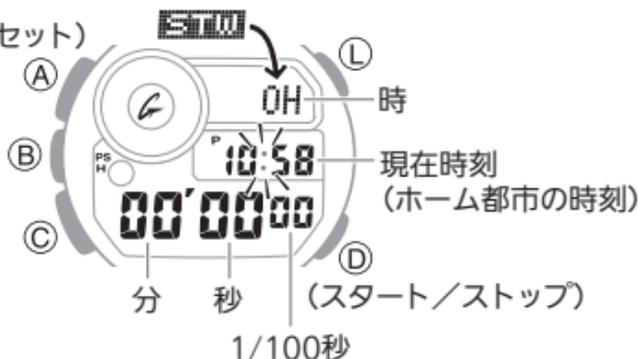
すべての記録データを消去する

- ① タイムリコールモードに切り替えます。
- ② **A** ボタンを約 5 秒間押し続けて、[CLEAR] [ALL] [Hold] が点滅した後、[CLEAR] [ALL] が点灯したら指を離します。
[NO-DATA] を流れるように表示します。
 - ・データがすべて消去されます。

ストップウォッチ

1/100秒単位で99時間59分59秒99まで計測できます。
計測範囲を超えた場合は、0に戻って計測を続けます。

(スプリット/リセット)



ストップウォッチモードを選ぶ

- 時刻モードで、**(C)** ボタンを3回押します。

ストップウォッチモードに切り替わります。

[STW] を表示し、約1秒後にストップウォッチ表示に切り替わります。

 モードの切り替え…P.54

計測する

● ボタン操作は、以下のとおりです。

- 経過時間計測

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート ストップ (再スタート) (ストップ) リセット

- スプリットタイム (途中経過時間) 計測

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット

- 1・2着同時計測

① → ② → ③ → ④ → ⑤
スタート スプリット ストップ スプリット解除 リセット
 1着ゴール 2着ゴール (2着のタイム表示)
 (1着のタイム表示)

🗨️ 参考

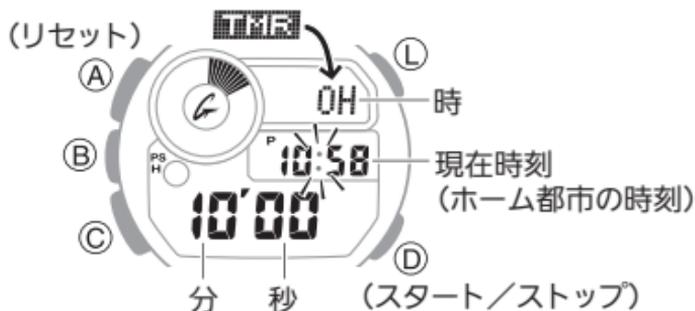
- 計測を開始後は、他のモードに切り替えたり、計測範囲を超えても ⑤ ボタンでリセットするまで計測を続けます。
- スプリット計測中に他のモードへ切り替えると、スプリットが解除されて経過時間を計測します。

タイマー

タイマーは1分から24時間まで設定することができます。
タイムアップになるとタイムアップ音が10秒間鳴ります。

参考

- ダイビングモードでもタイムアップ音が鳴ります。
- スタート操作はダイビングモードに入る前にしてください。



タイマーモードを選ぶ

- 時刻モードで、(C) ボタンを4回押します。

タイマーモードに切り替わります。

[TMR] を表示し、約1秒後にタイマー表示に切り替わります。

🔍 モードの切り替え…P.54

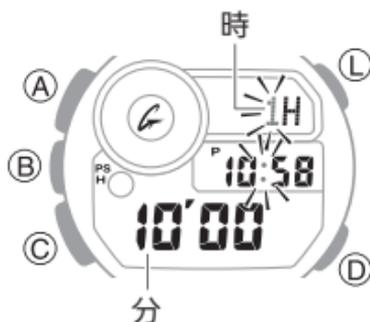
計測時間を設定する

① タイマーモードに切り替えます。

- タイマー計測中の場合は、**ⓓ** ボタンを押して計測を停止してから **Ⓐ** ボタンを押して計測時間をリセットします。
- タイマー計測が一時停止している場合は、**Ⓐ** ボタンを押して計測時間をリセットします。

② **Ⓐ** ボタンを 2 秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、タイマーの「時」表示が点滅したら指を離します。

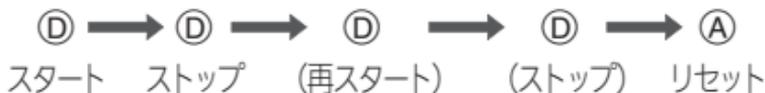
- ③ ㉓ ボタンを押して、「時」または「分」を選びます。**
選んだ方が点滅表示します。



- ④ ㉔ または ㉕ ボタンを押して「時」または「分」を設定します。**
- ㉔ または ㉕ ボタンを押し続けると早送りできます。
 - 計測時間を 24 時間に設定するときは、タイマー表示を 0H 00' 00 にしてください。
- ⑤ ㉖ ボタンを押します。**
設定が完了しました。

計測する

- タイマー計測のボタン操作は、以下のとおりです。



参考

- タイムアップになるとグラフィックが点滅しながらタイムアップ音が10秒鳴り、画面が計測前の状態に切り替わります。
- 他のモードに切り替えていても、タイムアップ音が鳴ります。

タイムアップ音を止める

- いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まります。

アラーム・時報

通常のアラームを4つ、スヌーズアラームを1つ設定できます。通常のアラームは、設定した時刻になるとアラーム音が約10秒間鳴ります。スヌーズアラームは、このアラーム音を5分おきに合計7回繰り返します。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

参考

- ダイビングモードでもアラーム音が鳴ります。
- 時刻設定はダイビングモードに入る前にしてください。



アラームモードを選ぶ

- 時刻モードで、**ⓐ** ボタンを5回押します。

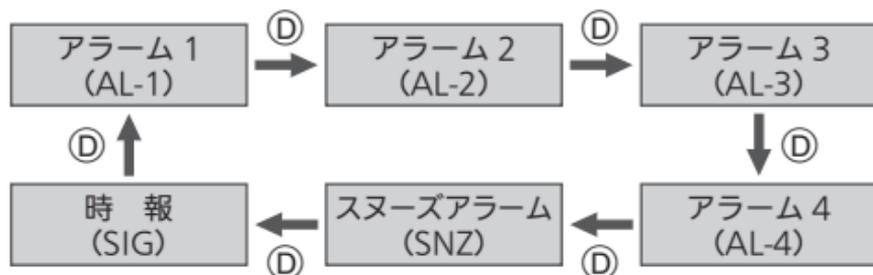
アラームモードに切り替わります。

[ALM]を表示し、約1秒後にアラーム番号([AL-1]～[AL-4]、[SNZ])または[SIG]を表示します。

 モードの切り替え…P.54

アラーム時刻を設定する

- ① アラームモードで、**ⓑ** ボタンを押して、設定するアラーム番号を選びます。



- 時報には時刻設定はありません。

② ① ボタンを2秒以上押し続けます。[SET]
[Hold] が点滅した後、アラーム時刻の「時」
表示が点滅したら指を離します。

③ ③ ボタンを押して、「時」または「分」を選びます。
選んだ方が点滅表示します。



④ ④ または ⑤ ボタンを押して、「時」または「分」
を設定します。

- ④ または ⑤ ボタンを押し続けると早送りできま
す。
- 12 時間制で表示している場合、午後は [P] を表
示します。

⑤ ① ボタンを押します。

設定が完了しました。

- 時刻を設定したアラームは自動的にオンになりま
す。

アラーム・時報のオン/オフ

- ① アラームモードで、**(D)** ボタンを押して、設定するアラーム番号または時報を選びます。
- ② **(A)** ボタンを押して、アラームまたは時報のオン/オフを切り替えます。
 - 5つのアラームのうち1つ以上のアラームをオンにすると、[ALM] が点灯します。
 - スヌーズアラームをオンにすると、[ALM] と [SNZ] が点灯します。
 - 時報をオンにすると、[SIG] が点灯します。

スヌーズ画面



スヌーズオンのときに点灯

時報画面



時報オンのときに点灯

アラーム音を止める

- いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。

参考

- スヌーズアラームの場合、約5分ごとに7回アラーム音が繰り返し鳴ります。
- スヌーズアラームが鳴り始めてから、7回のアラームがすべて鳴り終わるまで（スヌーズ中）は、[SNZ]が点滅します。
- スヌーズ中に以下の操作をすると、スヌーズアラーム機能が中断されます。
 - スヌーズアラームをオフに切り替えた
 - スヌーズアラームの時刻設定を始めた
 - 時刻モードで各種の設定を開始した

 都市の設定と時計の合わせ方…P.62

 - ホーム都市とワールドタイム都市が一致しているときに、ワールドタイムモードでサマータイムの設定を変更した

アラーム音を確認する（モニターアラーム）

- アラームモードのとき、**ⓓ** ボタンを押し続けます。

押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ワールドタイム

世界 48 都市 (31 タイムゾーン) + UTC の時刻を知ることができます。ワールドタイムモードで選択した都市を「ワールドタイム都市」といいます。

ワールドタイムモードを選ぶ

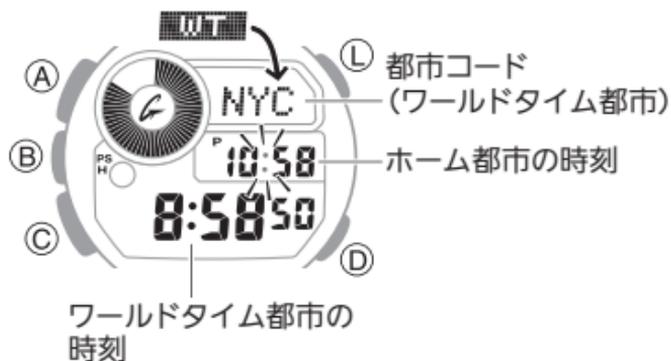
● 時刻モードで、**◎** ボタンを 6 回押します。

ワールドタイムモードに切り替わります。

[WT] を表示し、約 1 秒後に現在選択している都市コードと都市名 (英語) を流れるように 1 回表示します。

その後は、都市コードだけを表示します。

 モードの切り替え…P.54



他のタイムゾーンの時刻を見る

- ワールドタイムモードで、**ⓓ** ボタンを押して都市コードを選びます。
 - 選択した都市の現在時刻を表示します。
 - **ⓓ** ボタンを押し続けると早送りできます。

サマータイム (DST) の設定

- ① ワールドタイムモードで、**ⓓ** ボタンを押して都市コードを選びます。

② ④ ボタンを2秒以上押し続けます。

[DST] [Hold] [ON] または [DST] [Hold] [OFF] が点滅した後、設定が切り替わります。

- [DST] [Hold] [ON] が点滅するとサマータイムが設定されます。時刻もサマータイムで表示されます。[DST] [Hold] [OFF] が点滅するとサマータイムが解除されて、通常の時刻（スタンダードタイム）を表示します。
- 表示時刻をサマータイムに設定したときは、[DST] を表示します。



 **参考**

- サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻 (スタンダードタイム) から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。
- ワールドタイム都市にUTCを設定した場合、サマータイム設定の切り替えはできません。
- サマータイム設定は、選択している都市のみ適用します。他の都市には影響しません。

温度計測

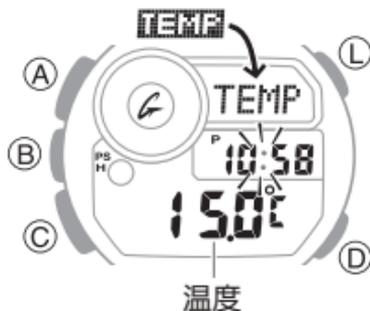
この時計は、通常使用時には気温を、また潜水時には水温を計測することができます。

温度を計測する

◆通常使用時

●時刻モードで、**◎** ボタンを7回押します。

[TEMP]を表示し、約1秒後に計測結果を表示します。

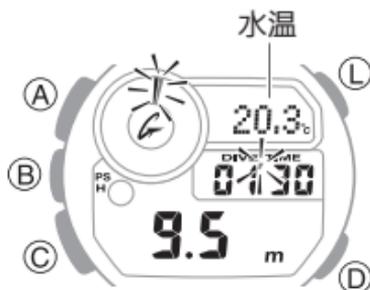


- 1秒ごとに60分間、計測し続けます。
- **◎** ボタンを押すと温度を再計測します（計測時間を延長することが可能です）。
- 60分間の計測が終わると、時刻モードに戻ります。
- 途中で計測を中止したいときは、**◎** ボタンを押して時刻モードに戻ります。

◆潜水時（ダイビングモードのとき）

● 潜水中に **(A)** ボタンを押します。

3 秒間、水温を表示します。



◆計測範囲

計測範囲：－ 10.0℃～ 60.0℃（計測単位：0.1℃）

- 計測範囲を超えたときは、[---.℃] を表示します。

温度の計測値を補正する

この時計に内蔵している温度センサーは、工場出荷時に調整されているため、通常は補正の必要がありません。ただし、計測値に大きなずれが発生したときは、表示を補正することができます。

✓ 重要

- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 補正をする場合は、時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで（20～30分）待ってから、補正してください。
- 温度調整は、水温の安定した水中だと、より正確に補正できます。

- 1 温度計測モードに切り替えます。
- 2 (A) ボタンを2秒以上押し続けます。[SET]
[Hold] が点滅した後、[°C] が点滅したら指
を離します。



- 3 (D) または (L) ボタンを押して、値を補正します。
 - 補正単位は0.1°Cです。
 - (D) または (L) ボタンを押し続けると早送りできます。

参考

- (D) ボタンと (L) ボタンを同時に押すと、[OFF°C] と表示された後、補正する前の計測値に戻ります。
- 4 (A) ボタンを押して補正を終了します。
温度計測を開始します。

気温計測のご注意

気温計測は体温（時計を腕にはめている場合）、直射日光、湿気の影響を受けます。正確な温度を計測するためには、腕から時計を外し、水分を拭き取り、換気が良く直射日光の当たらない所に置いてください。約 20 ～ 30 分で周囲の温度を計測できます。

水温計測のご注意

水温計測は体温の影響をほとんど受けることはありません。ただし、急激に温度が変化した場合、時計の温度が水温になれるまで約 5 分かかります。

潮の干満・月の形 / 月齢 (タイド・ムーン)

潮の干満や、月の形 / 月齢を調べることができます。

- ホーム都市の情報を表示します。

 ホーム都市、サマータイムを設定する…P.64

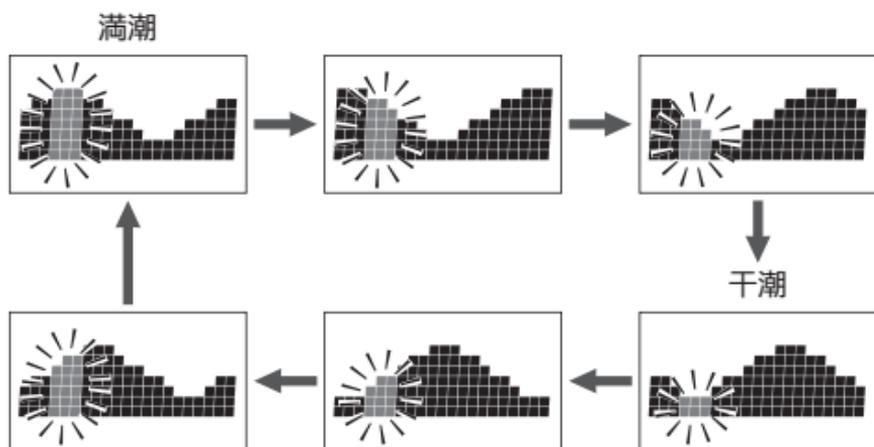
- 表示する結果はおおよその目安です。航海などには使用しないでください。

現在の潮の干満を表示する

- 時刻モードで **(A)** ボタンを押し、画面をタイドグラフに切り替えます。

- 潮の干満を表示します。





参考

- タイドグラフは平均的なタイドグラフ※を示しています。
- タイドグラフの表示が正しくない場合は、時刻モードの日時やホーム都市の設定を確認してください。それでも正しくならないときは「満潮時刻を補正する」(175ページ)をご覧ください。

※ 平均的なタイドグラフとは、満潮から次の満潮までの周期を約 12 時間 25 分とし、その中間に干潮になるということ为前提にしたものです。

今日の月の形 / 月齢を表示する

◆時刻モード:今日の月の形 (ムーンフェイス)

- 設定中 (表示が点滅しているとき) は除きます。



月の形(ムーンフェイス)

ムーンフェイスは、白い部分が月の形です。

月の形 (白い部分)



◆タイド/ムーンモード：今日の月齢

- ① 時刻モードで **Ⓒ** ボタンを 8 回押して、タイド/ムーンモードにします。



- ② **Ⓐ** ボタンを押すと、今日の月齢を表示します。



月の形と月齢

月の形	月 齢	表 示	月の形	月 齢	表 示
新月	28.7 ~ 29.8 0.0 ~ 0.9		満月	13.9 ~ 15.7	
	1.0 ~ 2.7			15.8 ~ 17.5	
	2.8 ~ 4.6			17.6 ~ 19.4	
	4.7 ~ 6.4			19.5 ~ 21.2	
上 弦	6.5 ~ 8.3		下 弦	21.3 ~ 23.1	
	8.4 ~ 10.1			23.2 ~ 24.9	
	10.2 ~ 12.0			25.0 ~ 26.8	
	12.1 ~ 13.8			26.9 ~ 28.6	

 **参考**

- 時刻にかかわらず、その日の正午の月の形と月齢を表示します。
- 左記の表で、「月の形」は北半球を基準として月を南向きに見上げたときのものです。南半球で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます。

 北半球または南半球での月の形を選ぶ…P.178

- 月齢の誤差は、±1日です。
- タイドグラフとムーンフェイズ(月の形)は、時刻モードとタイド/ムーンモードのみで表示します。
- ムーンフェイズの表示が正しくない場合は、時刻モードの日付やホーム都市の設定を確認してください。

今日の別の時刻を指定して、潮の干満を調べる

タイド / ムーンモードでは、1時間おきの潮の干満を調べることができます。

① 時刻モードで、**ⓐ** ボタンを8回押します。

 モードの切り替え…P.54

タイド / ムーンモードのタイド画面に切り替わります。
[TIDE] を表示した後、タイドグラフは今日午前6時の潮の干満の表示に切り替わります。

タイド画面



② ㊦ ボタンを押して、時刻を指定します。

- ㊦ ボタンを押すごとに 1 時間進み、タイドグラフも変化します。
- ㊦ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12 時間制で表示している場合、午後は [P] を表示します。

参考

- ㊦ ボタンを押し続けて、23 時を過ぎると時刻は当日の 0 時に戻ります。

日時を指定して、潮の干満、月の形 / 月齢を調べる

タイド / ムーンモードでは、別の日の潮の干満や月の形 / 月齢を調べることができます。

① 時刻モードで、**ⓐ** ボタンを 8 回押します。

 モードの切り替え…P.54

タイド / ムーンモードのタイド画面に切り替わります。
[TIDE] を表示した後、タイドグラフは、今日午前 6 時の潮の干満の表示に切り替わります。

タイド画面



2 **A** ボタンを押します。

ムーン画面に切り替わります。

[MOON] を表示し、指定した日付の正午の月齢が表示されます。

3 **D** ボタンを押して、日付を指定します。

- **D** ボタンを押し続けると早送りできます。
- 日付を指定した 1 秒後、月の形と月齢が表示されます。
- 日付は 2000 年 1 月 1 日から 2099 年 12 月 31 日の範囲で指定できます。

指定した日の月の形と月齢を確認することができます。

- 指定した日時 of 潮の干満を確認するには、手順 4 に進んでください。

4 **A** ボタンを押します。

タイド画面に戻ります。

[TIDE] を表示し、指定した日の午前 6 時の潮の干満を示します。

5 ⑤ ボタンを押して、時刻を指定します。

- ⑤ ボタンを押すごとに 1 時間進み、タイドグラフも変化します。
- ⑥ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 12 時間制で表示している場合、午後は [P] を表示します。

指定した日時の潮の干満を確認することができます。

✓ 重要

- ムーン画面からタイド画面に切り替えると、指定していた時刻はクリアされます。
指定した日時の潮の干満を確認するときは、日付の指定（手順 2、3）を先に行ってください。

☰ 参考

- 時刻モードに切り替えると、指定した日時はクリアされます。
時刻モードでは、タイドグラフは現在の潮の干満、ムーンフェイズは今日正午の月の形を表示します。

満潮時刻を補正する

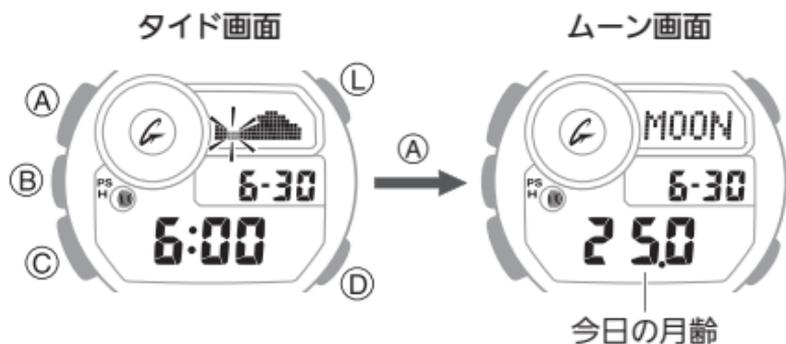
インターネットや新聞の情報に合わせて本機の満潮時刻を補正していただくと、より正確な潮の干満を示すことができます。

- お使いの場所や季節により満潮時刻は異なります。

① ムーン画面にします。

タイド画面のときは **(A)** ボタンを押します。

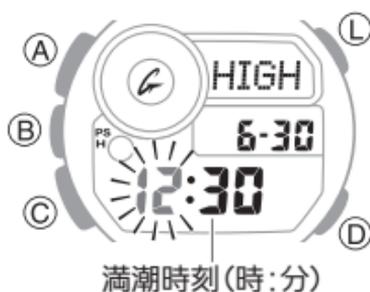
[MOON] を表示し、今日の月齢が表示されます。



② ㊦ ボタンを押して、満潮時刻を入力する日付を指定します。

- ㊦ ボタンを押すごとに 1 日ずつ進みます。
- ㊦ ボタンを押し続けると早送りできます。
- 日付を指定した 1 秒後、月の形と月齢が表示されます。
- 日付を変更しないときは手順 3 に進んでください。

③ ㊧ ボタンを 2 秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、満潮時刻の「時」が点滅したら指を離します。



- 12 時間制で表示している場合、午後は [P] を表示します。

- ④ ⑤ または ⑥ ボタンを押して「時」を合わせます。
- ⑤ または ⑥ ボタンを押し続けると早送りできます。
 - 手順 4 と手順 6 では、⑤ ボタンと ⑥ ボタンを同時に押すと、指定した日の補正する前の満潮時刻に戻ります。

☞ 参考

- 一日に 2 回の満潮がある場合は、最初の満潮時刻に合わせてください(2 回目は自動的に計算されます)。
- ホーム都市の時刻がサマータイムのときは ([DST] が点灯)、満潮時刻もサマータイムの時刻を設定してください。

🔍 ホーム都市、サマータイムを設定する…P.64

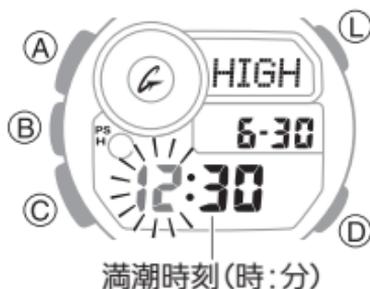
- ⑤ ⑦ ボタンを押します。
- ⑥ ⑤ または ⑥ ボタンを押して「分」を合わせます。
- ⑤ または ⑥ ボタンを押し続けると早送りできます。
- ⑦ ⑧ ボタンを押します。
- 補正を終了して、タイド画面に戻ります。
タイドグラフはより正確な潮の干満を示します。

北半球または南半球での月の形を選ぶ

次のいずれかを選ぶことができます。

- 北半球での月の形（南方向に月が見える場合）
- 南半球での月の形（北方向に月が見える場合）

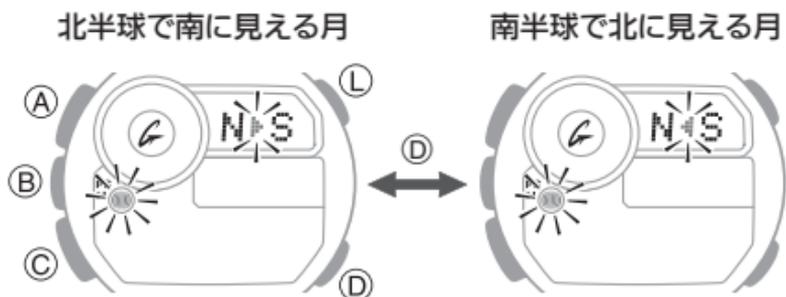
- ① タイド / ムーンモードで **(A)** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、満潮時刻の「時」が点滅したら指を離します。



- ② **(C)** ボタンを2回、押します。

北半球または南半球での月の形を選ぶ画面になります。

- ③ ④ ボタンを押して、北半球または南半球での月の形を選択します。



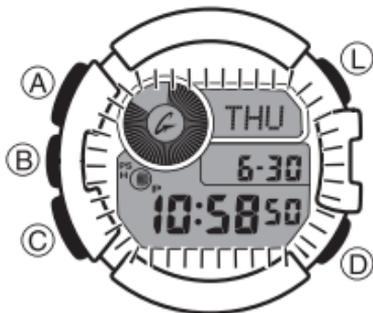
- ④ ① ボタンを押して設定を終了します。

ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。また、暗いところで時計の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

ボタンを押して点灯させる

- ④ ボタンを押すと、ライトが点灯します。

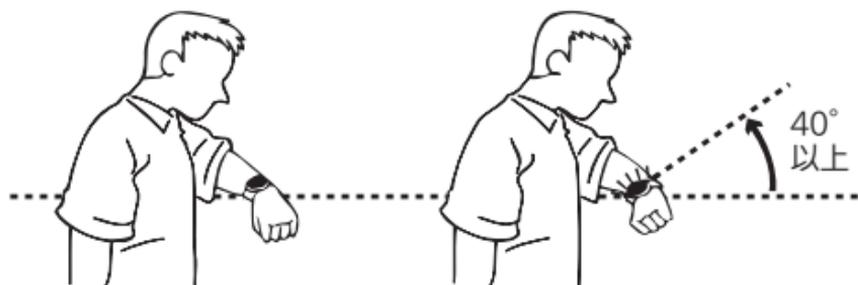


参考

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- ダイビングモードで一度ライトを点灯した後、水深計測が終わるまで、連続でのライト点灯はできません。

自動的に点灯させる（オートライト）

オートライト機能が設定されているとき、時計を 40° 以上傾けるとライトが点灯します。



参考

- 明るいところでは点灯しません。
- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
 - アラーム音が鳴っているとき
 - 方位計測中
 - 方位計測モードのセット状態
 - 電波を受信しているとき
 - タイド / ムーンの計算をしているとき
- センサーモードでは、オートライト機能はセンサー計測後に作動します（タイミングによっては、遅れて点灯することがあります）。

◆オートライトの設定 / 解除

●時刻モードで、**(L)** ボタンを3秒以上押し続けます。

- オートライトを設定したときは [LT] が点灯します。
- オートライトを解除したときは [LT] が消灯します。



オートライトを設定済み

☰ 参考

- 画面の上段に [CHG] が点滅すると、オートライト機能が解除されます。

🔍 充電量の確認…P.26

◆オートライトに関する注意事項

- 以下の図のように、時計が水平状態から 15 度以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 時計が袖などに隠れていると、ライトが頻繁に点灯して充電量が低下します。
- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

点灯時間を切り替える

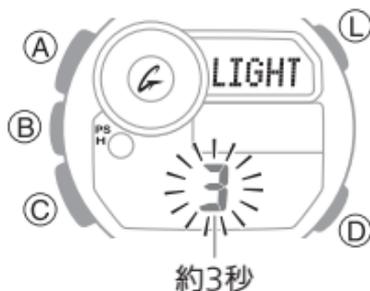
- ① 時刻モードで、**Ⓐ** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CITY] を表示したら指を離します。

- 都市コードと都市名（英語）を流れるように表示します。

- ② **Ⓒ** ボタンを10回押します。

 参照…P.68

- 画面の上段に [LIGHT] を表示します。
- 画面の下段に [1] または [3] が点滅します。



- ③ **Ⓓ** ボタンを押して、[1]（1.5秒間点灯）または [3]（3秒間点灯）を選びます。

4 ④ ボタンを押します。

設定が完了しました。

各種の設定

ボタン操作音の設定 / 解除

ボタンを押したときに鳴る操作音のあり / なしを選ぶことができます。

① 時刻モードで、**Ⓐ** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CITY] を表示したら指を離します。

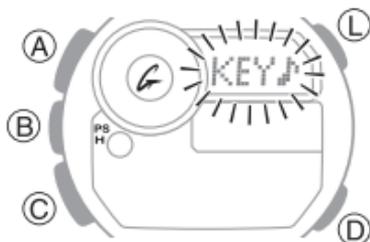
- 都市コードと都市名（英語）を流れるように表示します。

② **Ⓒ** ボタンを9回押します。

操作音のあり / なしを選ぶ画面になります。

 参照…P.68

- [KEY ♪] または [MUTE] を表示します。



③ ① ボタンを押して、[KEY ♪]（操作音あり）
または [MUTE]（操作音なし）を選びます。

④ ② ボタンを押します。

設定が完了しました。

- 操作音が鳴らないように設定すると、[MUTE] を表示します。



操作音が鳴らないことを示します

参考

- 操作音が鳴らないように設定した場合でも、アラーム音、時報、タイマー音、急浮上アラームなどの警告音は鳴ります。

節電（パワーセービング機能）の設定 / 解除

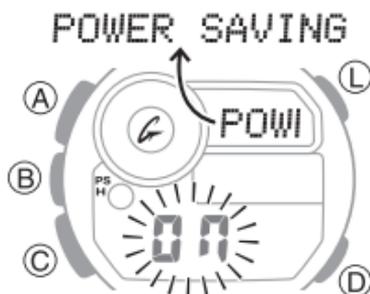
- ① 時刻モードで、**Ⓐ** ボタンを2秒以上押し続けます。[SET] [Hold] が点滅した後、[CITY] を表示したら指を離します。

- 都市コードと都市名（英語）を流れるように表示します。

- ② **Ⓒ** ボタンを11回押します。

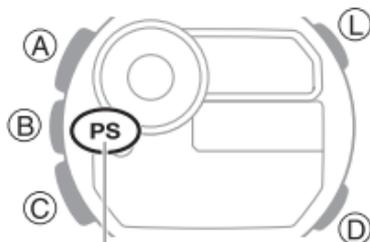
 参照…P.68

画面の上段に [POWER SAVING] を流れるように表示し、画面の下段に [ON] または [OFF] が点滅します。



- ③ ④ ボタンを押して、ON（設定）または OFF（解除）を選びます。

パワーセービング機能が ON のときは、画面の左に [PS] を表示します。



節電（パワーセービング機能）を
設定済み

- ④ ① ボタンを押します。

設定が完了しました。

故障かな?と思ったときは

ダイビングモード

状況	原因と対処
ダイビングモードに切り替わらない	[LOW] もしくは、[H] [M] [L] がすべて点滅している場合は、一時的な電池消耗の状態です。 一時的な電池消耗の状態では、ダイビングモードに入ることを禁止しています。
ダイビングモードに切り替えたときに [LIMIT ERR] を表示する	水深 0 m に設定するための基準気圧が、センサー計測範囲外（高所限界、水深限界）であることを示しています。 高所の限界気圧 530hPa 以下の場合、[LIMIT ERR] になります。 水深の限界気圧 9500hPa 以上の場合、[LIMIT ERR] になります。

状況	原因と対処
時刻モードに切り替わらない	<p>気圧が大きく変動する乗り物（飛行機など）で、誤操作などによりダイビングモードに切り替えたしまった場合、時計内部では水中（水深 1.5m 以深）とみなすことがあるため、時刻モードに切り替えることができなくなる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このような場合は、◎ ボタンを 10 秒間押し続けると、時刻モードに強制的に切り替えることが可能です。 <p>✔重要</p> <ul style="list-style-type: none"> • ダイビング中には、この操作はしないでください。
注意マーク [!] が点滅している	「注意マーク [!] が点滅しているときは」(110 ページ) をご参照ください。

状況	原因と対処
水深計測が正確でない	<p>本機はダイビングモードに切り替えたときの周囲圧を 0m として設定していますので、必ず水面でダイビングモードに切り替えてご使用ください。水中でモード切り替えをしたときは、水面で 0m リセットを設定してください。</p> <p> 水深手動 0m リセット（水深 0m の設定）…P.82</p>
	<p>特に夏場において、直射日光により時計の温度が異常に高温になることがあり、そのままダイビングモードに切り替えて潜水を開始しますと温度差により正しく計測できないことがあります。このようなときは水温に 2～3 分間時計をならしてからダイビングモードに切り替えてご使用ください。</p> <p> 使用注意事項…P.92</p>
	<p>過度の衝撃を受けた場合は水深計の精度に影響をおよぼすことがあります。このようなときは速やかに修理サービス窓口において検査および精度の調整を受けてください。</p>

状況	原因と対処
水深計測が正確でない	<p>本機における水深計測は、海水（比重 1.025）における水深を表示しますので、淡水における水深は表示数値の 1.025 倍となります。</p>
計測温度が正確でない	<p>温度センサーは時計に内蔵されているため、本機の計測する温度は時計自体の温度となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気温を計測する場合、腕につけているときの体温、直射日光、水滴などの影響を受けますので、正確な気温を計測するときは時計を腕からはずし、風通しのよい日陰で、水滴をよく拭き取ってから計測してください。 ● 実際の気温と時計自体の温度が同じになるまで約 20 分～30 分かかります。 ● 水温を計測する場合、腕につけていても体温の影響をほとんど受けることはありません。ただし、急激に温度が変化した場合、時計の温度が水温になれるまで約 5 分かかります。 <p>また、本機の表示する温度が正確な温度計と比較して大きくずれている場合、温度を調整（誤差修正）できます。</p> <p> 温度の計測値を補正する…P.160</p>

状況	原因と対処
ログデータがメモリーされない	<p>水深 1.5m 以深を計測した場合のみ、ログデータの記録対象となります。</p> <p>また、ダイビングモード切り替え直後は、10 秒毎の水深計測となっているため、船などから急激な入水をする、計測のタイミングにより、メモリー開始が遅れる場合があります。</p> <p>水深 0.3m 以深になると 1 秒毎に計測するようになるため、一旦水面で腕を 10 秒程おろした状態にしてからダイビングを開始することをおすすめします。</p> <hr/> <p>潜水中にバッテリーエラー [H] [M] [L] の点滅や、センサーエラーが起きた場合は、エラーが起きるまでの記録は残りますが、それ以降のログデータはメモリーされません。</p> <p> 光で充電（ソーラー充電）…P.30</p> <p> 充電不足や充電切れ…P.32</p> <p>なお、センサー故障の場合は、ただちに修理サービス窓口に修理をご依頼ください。</p>

状況	原因と対処
水上にもかかわらず水深が0.0mになっていない	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイビング開始時と終了後で大きな気圧（天候）変動があった場合や、ご使用時の水上の気圧が標準気圧よりも大きい場合などは、0.0 mに戻らない場合があります。 ● 水中（水深 1.5m 以深相当の水圧）でダイビングモードに切り替えた場合は、標準気圧 1013hPa を水深 0m として水深を表示します。
ライトが点灯しない	<p data-bbox="373 653 956 780">ライトを短時間に頻繁に使用すると [H] [M] [L] マークが点滅して、ライトが使えなくなることがあります。</p> <p data-bbox="373 802 956 928">過度な衝撃により、故障することがあります。このようなときは、ただちに修理サービス窓口にご依頼ください。</p> <p data-bbox="373 950 956 1077">ダイビングモードで一度ライトを点灯した後、水深計測が終わるまで連続でのライト点灯はできません。</p>

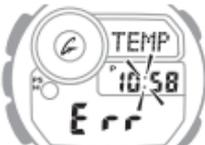
方位の計測

状況	原因と対処
8 の字補正実施後、[ERR] を表示した	<p>室内環境などの、高磁力や低磁力の環境では、[ERR] となり、補正ができない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none">● 強い磁力がある場所から離れて再度計測してください。それでも、[ERR] を表示する場合は、次の原因が考えられます。 <p>既に正しく補正されているが、現在より条件の良い補正がされなかった。</p> <ul style="list-style-type: none">● 一度、方位を計測し、正しく計測できているかどうか確認してください。● 方位も異なり、強い磁力がある場所から離れているにもかかわらず、何度も [ERR] 表示をする場合は、「修正に関するお問合せ窓口」にご相談ください。
3 点補正の途中で、1 点目の待機状態に戻った	<p>途中でエラーや他の要因で中断が発生し、やり直しのために 1 点目に戻った。</p> <ul style="list-style-type: none">● もう一度 1 点目から補正をしてください。

状況	原因と対処
3点補正の最後で、3点目の補正を実施後、[ERR]を表示した	<p>[ERR]を表示した場合、センサーの異常か、強い磁力が近くにあるか、磁化された机など、金属系のものに置いて計測してしまうと、その磁力の影響を受けてしまう可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 強い磁力がある場所から離れて、もう一度補正をしてください。 ● 何度も [ERR] を表示する場合は、「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。
予備のコンパスと比較して、計測した方位が異なる	<p>強い磁力がある場所から離れて、8の字補正または3点補正をした後、計測してください。</p> <p> 8の字補正…P.124</p> <p> 3点補正…P.126</p> <p> 使用場所…P.134</p>
同じ場所で計測結果が異なる	<p>強い磁力がある場所から離れて、計測してください。</p> <p> 使用場所…P.134</p>

状況	原因と対処
室内での方位計測で方位がずれる	室内には、強磁力や低磁力の環境など、地磁気では存在しえない磁界が有ります。そのため、室内では正しい方位が計測できない場合があります。  使用場所…P.134
異常磁気検出状態（下記のように液晶表示が点滅）になった 	強い磁力がある場所から離れて、再計測してください。 ● 再計測しても異常磁気検出状態になるときは、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。強い磁力がある場所から離れたまま、8の字補正または3点補正をした後、計測してください。  8の字補正…P.124  3点補正…P.126  使用場所…P.134  保管場所…P.134

センサー計測エラー

状況	原因と対処
<p>計測中に [ERR] を表示した</p> <p>水深計測時</p>  <p>方位計測時</p>  <p>ダイビングモード中の方位計測時</p>  <p>温度計測時</p> 	<p>センサーや内部回路が故障すると [ERR] (エラー) を表示し、センサー機能が使用できなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計測中に [ERR] を表示したときは、計測をやり直してください。また [ERR] を表示した場合、センサーの異常が考えられます。 [ERR] 表示が消えない場合、センサーの故障が考えられます。「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。 センサー異常時に表示されます。強い磁力の近くで計測した場合にも表示されます。強い磁力がある場所から離れて、何回か操作しても [ERR] が表示されるときは、「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。 <p> 使用場所…P.134</p>

充電

状況	原因と対処
光に当てても操作できない	充電切れになると操作できなくなります。画面下部の表示が [H] または [M] になるまで充電してください。  光で充電（ソーラー充電）…P.30

状況	原因と対処
<p>[H] [M] [L] がすべて点滅し ている</p>   	<p>一時的な電池消耗の状態です。回復するまで（約 15 分）お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ライトやセンサー計測などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少し、一時的な電池消耗に切り替わります。一時的な電池消耗は[H][M][L]がすべて点滅します。「充電不足」と同じ状態になり、使用できる機能が制限されますが、復帰後は通常の状態に戻ります。 <p> 充電不足や充電切れ…P.32</p> <ul style="list-style-type: none"> [H] [M] [L] と [CHG] が一緒に点滅しているときや、[CHG] だけが点滅しているときは、充電量が著しく低下しています。すぐに、光に当てて充電をしてください。

時刻設定

状況	原因と対処
現在時刻の表示が数時間ずれている	ホーム都市の設定が正しくありません。ホーム都市の設定を確認してください。  ホーム都市、サマータイムを設定する…P.64
現在時刻の表示が1時間ずれている	電波を受信できる地域で使用している場合、ホーム都市の設定を確認してください。  ホーム都市、サマータイムを設定する…P.64
	電波を受信できない地域で使用している場合、手動でサマータイムに対応した時刻設定をする必要があります。  ホーム都市、サマータイムを設定する…P.64

電波受信

以下の都市をホーム都市に設定している場合に該当します。

リスボン (LIS), ロンドン (LON), マドリード (MAD), パリ (PAR), ローマ (ROM), ベルリン (BER), ストックホルム (STO), アテネ (ATH), モスクワ (MOW), 香港 (HKG), 北京 (BJS), ホノルル (HNL), アンカレジ (ANC), バンクーバー (YVR), ロサンゼルス (LAX), エドモントン (YEA), デンバー (DEN), メキシコシティ (MEX), シカゴ (CHI), ニューヨーク (NYC), ハリファックス (YHZ), セントジョンズ (YYT), 台北 (TPE), ソウル (SEL), 東京 (TYO)

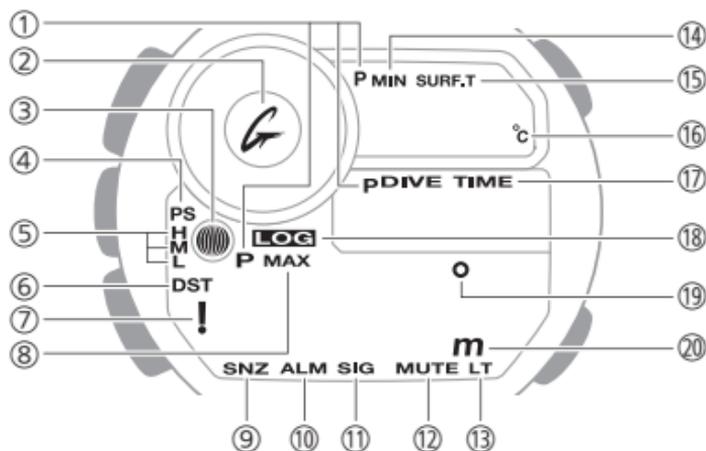
状況	原因と対処
電波の受信が成功しない (受信結果が[ERR]になる)	電波の受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 <ul style="list-style-type: none"> ● ボタンを操作すると受信を中断します。時計を動かすと、受信がしにくくなります。  電波を受信するには…P.43
	電波の受信中にアラームが鳴った。 <ul style="list-style-type: none"> ● 受信中にアラームが鳴ると受信をキャンセルします。
	電波障害による受信の失敗。 <ul style="list-style-type: none"> ● 周辺を確認し、電波障害のない所で受信してください。  電波の受信範囲と条件…P.40
	送信所から電波が発信されていない。 <ul style="list-style-type: none"> ● 独立行政法人情報通信研究機構(NICT) 日本標準時グループのホームページなどをご確認ください。  電波の受信範囲と条件…P.40

状況	原因と対処
電波が受信できない	<p>時刻モードまたはワールドタイムモードになっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時刻モードまたはワールドタイムモードに切り替えてください。 <p> モードの切り替え…P.54</p>
	<p>ホーム都市の設定が正しくない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホーム都市の設定を確認してください。 <p> ホーム都市、サマータイムの設定…P.62</p>
	<p>充電量が不足しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電量が低いと受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。 <p> 充電するには…P.30</p>
電波の受信は成功したが、日付または時刻が正しくない	<p>ホーム都市の設定が正しくない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホーム都市の設定を確認してください。 <p> ホーム都市、サマータイムの設定…P.62</p>

ワールドタイムモード

状況	原因と対処
設定したワールドタイム都市の時刻がずれている	サマータイム設定(スタンダードタイム / サマータイム)が正しくありません。  サマータイム(DST)の設定…P.155

主な機能表示



番号	表示内容	参照ページ
①	午後に点灯 (午前は消灯)	P.70
②	電波受信に成功しているときに点灯	P.47
③	ムーンフェイズ (月の形)	P.166
④	節電 (パワーセービング) に設定済み	P.36
⑤	充電量の状態	P.32
⑥	サマータイムを時刻表示しているときに点灯	P.64

番号	表示内容	参照ページ
⑦	ダイビングモードやログモードで何らかの異常を検出しているときに点灯	P.110
⑧	最大水深を表示しているときに点灯	P.104
⑨	スヌーズアラームを設定済み	P.151
⑩	アラームを設定済み	P.151
⑪	時報を設定済み	P.151
⑫	操作音なしに設定済み	P.186
⑬	オートライトを設定済み	P.182
⑭	最低水温を表示しているときに点灯	P.104
⑮	水面休息时间（サーフェスタイム）を表示しているときに点灯	P.80
⑯	温度を表示しているときに点灯	P.158
⑰	潜水時間を表示しているときに点灯	P.73
⑱	ログデータを表示しているときに点灯	P.104
⑲	方位を表示しているときに点灯	P.114
⑳	水深を表示しているときに点灯	P.74

製品仕様

- 精 度 : 電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒
- 基 本 機 能 : 時・分・秒・年・月・日・曜日、午前/午後(P)/24時間制表示、フルオートカレンダー(2000~2099年)
● 年は設定時のみ表示
- 電波時計機能 : 自動受信・手動受信
受信日時確認機能
サマータイム自動切り替え
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77で対応)
受信電波 コールサイン:
JJY(40kHz/60kHz)、
WWVB(60kHz)、
MSF(60kHz)、
DCF77(77.5kHz)、
BPC(68.5kHz)
OFF: 電波受信オフ

- ダイビング機能 : 水深計測範囲 0.0m ~ 80.0m
水深計測単位 0.1m
潜水時間計測 :
最大6時間(180分まで1秒単位、
以降は1分単位)
ダイビングモード :
水深 1.5m で自動的に計測を開始 / 終了
ログメモリー :
20 本 (潜水開始日時、潜水時間、
最大水深、最低水温を1本のログとする)
水面休息時間表示 48 時間
浮上速度警告機能 :
急浮上アラーム報音時間 5 秒間

方位計測機能 : 方位角の計測範囲 0°~359°
16方位(ダイビングモードでは表示なし)
方位連続計測(60秒(ダイビングモードでは20秒))
東西南北グラフィック表示
ベアリングメモリー(ダイビングモードでは機能なし)
自動水平補正機能
方位補正機能(8の字補正、3点補正)
磁気偏角補正機能

温度計測機能 : 計測範囲 -10.0°C~60.0°C
表示範囲 -10.0°C~60.0°C
計測単位 0.1°C
温度調整機能

センサー精度 :

- 水深センサー 計測精度 -0.5m~+1.0m[※]
(精度保証温度範囲 -10°C~60°C)
※ 海水(比重 1.025)における水深
- 方位センサー 計測精度 ±10°以内
(精度保証温度範囲 10°C~40°C)
方位グラフィックでは±2目盛以内
- 温度センサー 計測精度 ±2°C以内
(精度保証温度範囲 -10°C~60°C)

- タイムスタンプ機能 : 20本(年月日、時、分、秒)、
付加記録(水深、方位、温度)
- タイド/ムーン : 潮の干満(タイドグラフ)、
月の形(ムーンフェイズ)、月齢
日付選択機能
時刻選択機能(タイドグラフのみ)
- ワールドタイム機能 : 世界48都市(31タイムゾーン)
+UTCの時刻を表示、サマータイム
設定機能
- タイマー機能 : セット単位 1分
計測範囲 24時間
計測単位 1秒
タイマー報音時間 10秒間
- ストップウォッチ機能 : 計測単位 1/100秒
計測範囲 99時間59分59秒99
(100時間計)
計測精度 ±0.0006%
計測機能 通常計測、積算計測、ス
プリット計測、1・2着同
時計測

アラーム機能 : 時刻アラーム
アラーム数 4本
スヌーズアラーム数 1本
セット単位 時・分
アラーム報音時間 10秒間
時報 毎正時に電子音で報知

そ の 他 : LEDライト、ライト点灯時間切り
替え、フルオートライト、モニター
アラーム、パワーセービング機能、
充電量の表示 (バッテリーインジ
ケーター)、操作音の設定 / 解除

使 用 電 池 : 二次電池

持 続 時 間 : 約7か月

- 電子音 : 10 秒 / 日
 - ライト : 1.5 秒 / 日
 - 電波受信 : 4 分 / 日
 - 表示点灯 : 18 時間 / 日 (スリープ 6 時間 / 日)
 - 方位計測 : 連続計測 60 秒を 20 回 / 月
 - ダイビング : 50 本 / 年
 - 水深計測 : 73 分 (潜水時間は 60 分) / 1 本
 - ライト : 3.0 秒 (1.5 秒 × 2 回) / 1 本
 - 浮上速度警告 (急浮上アラーム) : 5 秒 / 1 本
- (ただし、ライト使用条件やダイビングモードでの潜水時間により、持続時間が短くなることがあります。)

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

- 水深 200m 相当の圧力に耐えます。スキンドайビング、スクーバダイビング等にご使用になれます。
- 水中でボタンを操作しても、本機の性能に支障はありません。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために、必ず定期的（2年に1回）なパッキン交換を行ってください。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

■潜水前のご注意

- 電池が十分充電してあることを確認してください。
 - 事前に充電レベル 2 になるまで充電をしてから、ダイビングにご使用ください。
- ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。
- 時刻が正確にセットされているかを確認してください。
- ガラスやケース、バンドなどにひびや破損などの異常がないか、また、バンドが確実に固定されているかを確認してください。

■潜水中のご注意

- 岩などにぶつけないようにご注意ください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。

ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 時計動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。

なお、極度に強い磁気（医療機器など）は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

■データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

■センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしていたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

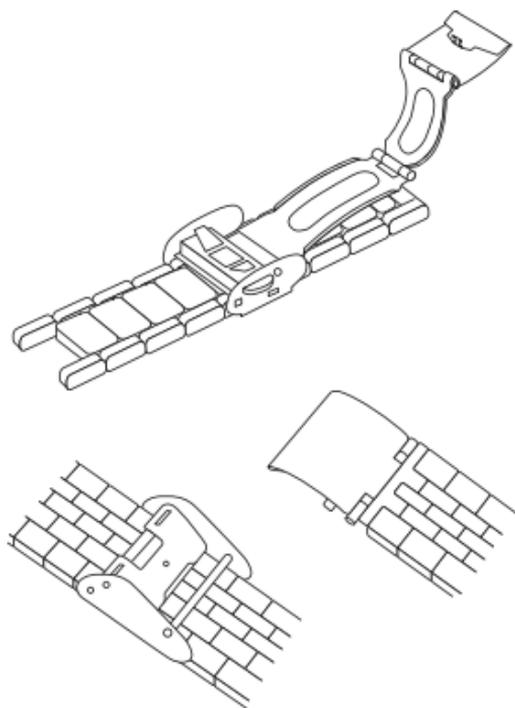
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

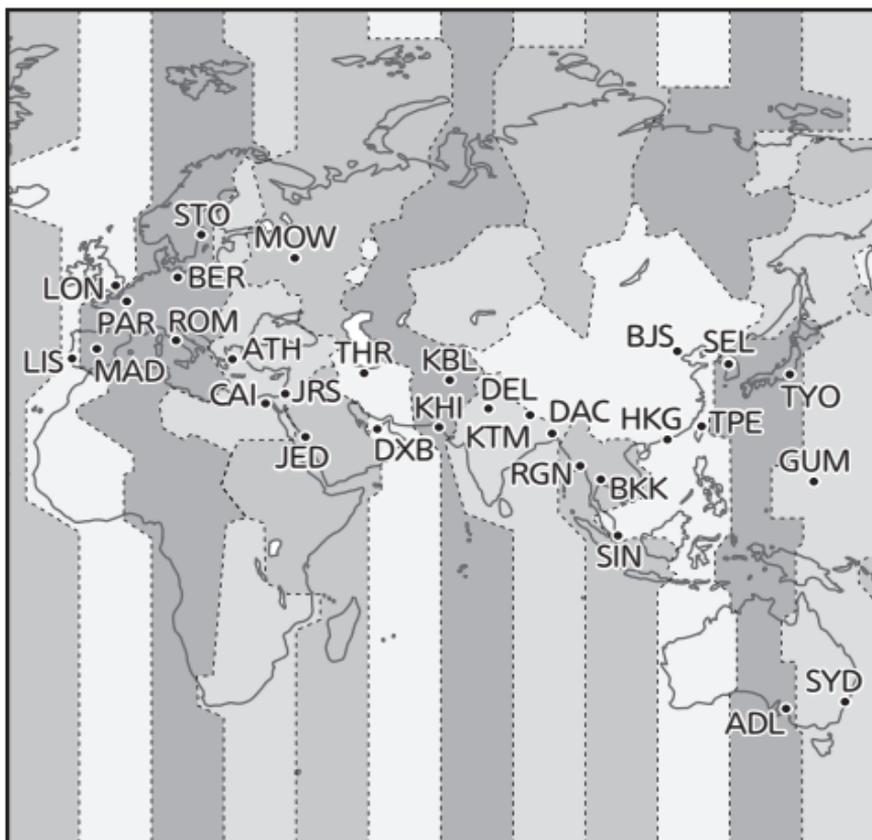
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



UTC（協定世界時）とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

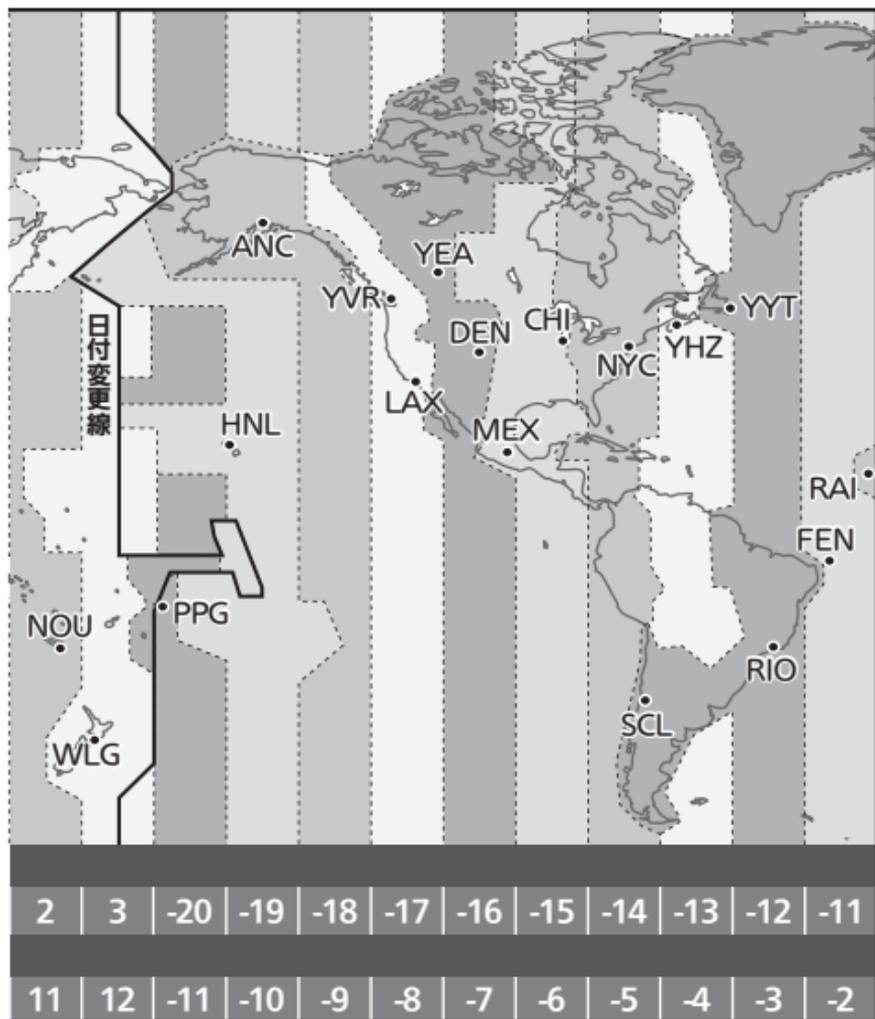


JST(日本標準時)との時差

-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

UTC(協定世界時)との時差

-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----



都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC (協定世界時)		0	
LISBON	LIS	0	リスボン
LONDON	LON	0	ロンドン
MADRID	MAD	+ 1	マドリッド
PARIS	PAR	+ 1	パリ
ROME	ROM	+ 1	ローマ
BERLIN	BER	+ 1	ベルリン
STOCKHOLM	STO	+ 1	ストックホルム
ATHENS	ATH	+ 2	アテネ
CAIRO	CAI	+ 2	カイロ
JERUSALEM	JRS	+ 2	エルサレム
MOSCOW	MOW	+ 3	モスクワ
JEDDAH	JED	+ 3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+ 3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+ 4	ドバイ
KABUL	KBL	+ 4.5	カブール
KARACHI	KHI	+ 5	カラチ
DELHI	DEL	+ 5.5	デリー

コード		タイムゾーン	都市名
KATHMANDU	KTM	+ 5.75	カトマンズ
DHAKA	DAC	+ 6	ダッカ
YANGON	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+ 7	バンコク
SINGAPORE	SIN	+ 8	シンガポール
HONG KONG	HKG	+ 8	香港
BEIJING	BJS	+ 8	北京
TAIPEI	TPE	+ 8	台北
SEOUL	SEL	+ 9	ソウル
TOKYO	TYO	+ 9	東京
ADELAIDE	ADL	+ 9.5	アデレード
GUAM	GUM	+ 10	グアム
SYDNEY	SYD	+ 10	シドニー
NOUMEA	NOU	+ 11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+ 12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	- 11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	- 10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	- 9	アンカレジ

コード		タイム ゾーン	都市名
VANCOUVER	YVR	- 8	バンクーバー
LOS ANGELES	LAX	- 8	ロサンゼルス
EDMONTON	YEA	- 7	エドモントン
DENVER	DEN	- 7	デンバー
MEXICO CITY	MEX	- 6	メキシコシティ
CHICAGO	CHI	- 6	シカゴ
NEW YORK	NYC	- 5	ニューヨーク
HALIFAX	YHZ	- 4	ハリファックス
SAINT JOHN'S	YYT	- 3.5	セントジョンズ
SANTIAGO	SCL	- 3	サンティアゴ
RIO DE JANEIRO	RIO	- 3	リオデジャネイロ
F. DE NORONHA	FEN	- 2	フェルナンド・デ・ ノローニャ
PRAIA	RAI	- 1	プライア

 **参考**

- この表と地図上の都市は、本機の都市コードの一覧（2016年1月作成）です。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所の時差を確認し、時差が一致する都市コードを選択してください。
- 時差は協定世界時（UTC）を基準にしています。